

資料編

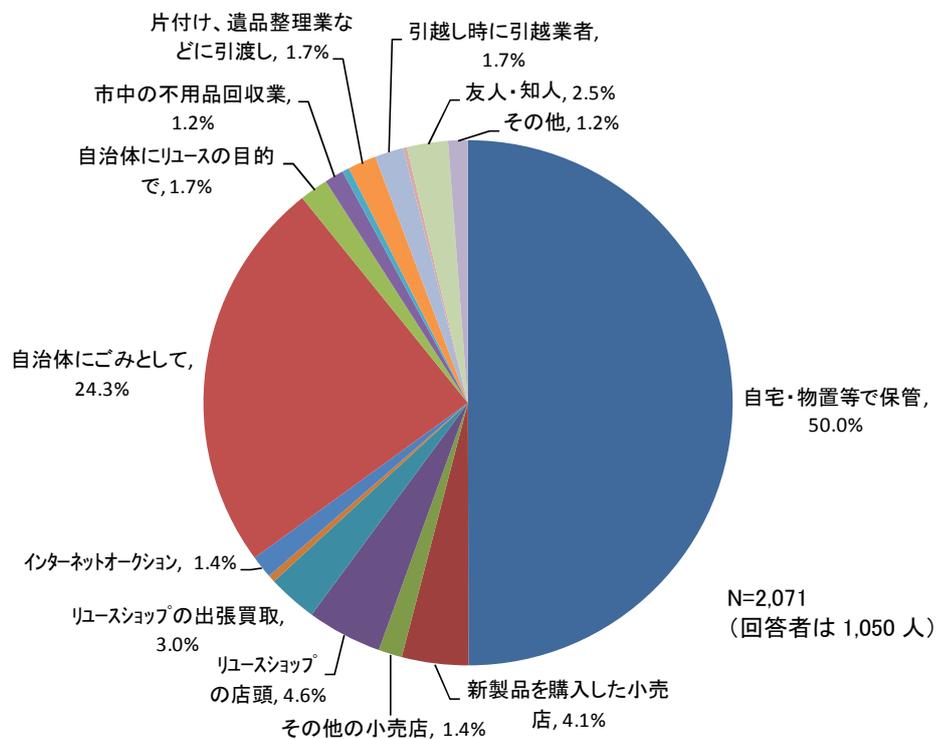
使用済製品の品目別排出・流通実態の推計（品目別の概要）

（1）家具類

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となった家具類の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となった家具類の台数は2,071台(1,050人からの回答)、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く50.0%、次いで「自治体にごみとして廃棄」が24.3%、「リユースショップの店頭で売却」が4.6%、「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」が4.1%と続く。

図表 1 不用となった家具類の排出先別の割合（台）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。

※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

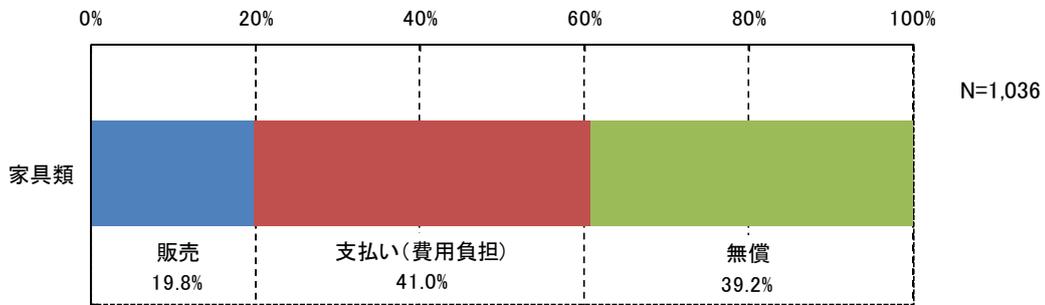
2) 不用品の排出における費用について

不用となった家具類の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「支払い(費用負担)」との回答が最も多く 41.0%、次いで「無償」が 39.2%、「販売」は 19.8%となっている(図表 2)。また、「販売」の際の平均単価は 4,615 円/個、「支払い(費用負担)」は 5,117 円/個となっている(図表 3)。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「自治体にごみとして廃棄」が続き、そのうち 60.8%が「支払い(費用負担)」、「無償」が 37.4%となっている。「リユースショップの店頭で売却」では「販売」が 68.4%(3,919 円/個)、「無償」が 28.4%、「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」では「無償」が 58.3%、「販売」が 22.6%(3,026 円/個)、「支払い(費用負担)」が 19.0%(1,763 円/個)となっている。

図表 2 排出・引渡時の費用について(家具類)



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 3 排出・引渡先別の割合・費用について(家具類)

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
	個数	割合	(1)販売			(2)支払い(費用負担)			(3)無償	
			個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	1,035	50.0%							1,035	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	84	4.1%	19	22.6%	3,026	16	19.0%	1,763	49	58.3%
その他の小売店に引渡し・売却	30	1.4%	22	73.3%	4,885	—	—	—	8	26.7%
リユースショップの店頭で売却	95	4.6%	65	68.4%	3,919	3	3.2%	4,000	27	28.4%
リユースショップの出張買取サービス	63	3.0%	51	81.0%	7,740	—	—	—	12	19.0%
宅配で郵送する買取サービス	9	0.4%	6	66.7%	3,167	—	—	—	3	33.3%
インターネットオークションで売却	29	1.4%	24	82.8%	2,625	2	6.9%	700	3	10.3%
自治体にごみとして廃棄	503	24.3%	9	1.8%	2,500	306	60.8%	1,172	188	37.4%
自治体にリユースの目的で引渡し	36	1.7%	1	2.8%	1	29	80.6%	2,124	6	16.7%
不用品回収業者に引渡し	24	1.2%	3	12.5%	2,333	11	45.8%	6,036	10	41.7%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	9	0.4%	—	—	—	2	22.2%	800	7	77.8%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	36	1.7%	—	—	—	35	97.2%	42,686	1	2.8%
引越時に引越業者に引渡し	36	1.7%	1	2.8%	5,000	14	38.9%	9,679	21	58.3%
バザー・フリーマーケット等で売却	5	0.2%	—	—	—	—	—	—	5	100.0%
友人・知人に譲渡・売却	52	2.5%	3	5.8%	5,000	—	—	—	49	94.2%
その他	25	1.2%	1	4.0%	100	7	28.0%	2,179	17	68.0%
合計	2,071	100.0%	205	9.9%	4,615	425	20.5%	5,117	1,441	69.6%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) 家具類の排出・流通実態の推計

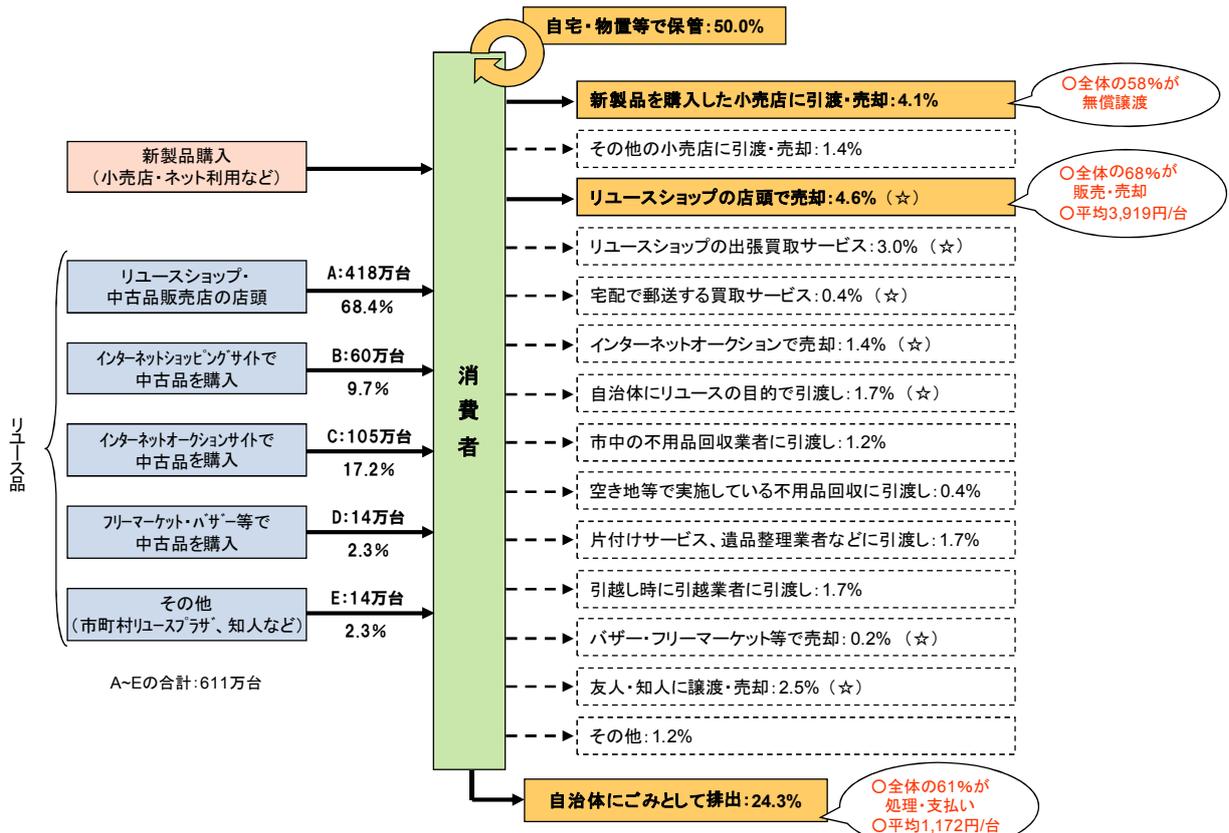
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手した家具類は611万台、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが68.4%、418万台、「インターネットオークションサイト」が17.2%、105万台と推計される。

また、過去1年間で不用となった家具類の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く50.0%、次いで「自治体にごみとして廃棄」が24.3%、「新製品を購入した小売店に引渡・売却」が4.1%、「リユースショップの店頭で売却」が4.6%と続く。

排出・引渡の費用は、「自治体にごみとして排出」では支払が61%を占め、その費用は平均1,172円/個となっている。「新製品を購入した小売店に引渡・売却」では無償が58%、「リユースショップの店頭」では販売が68%、平均3,919円/個となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの（図表中の☆の排出先の合計）は、全体の14.0%、「自宅・物置等で保管」を除き割合を求めると全体の28.6%を占めると推計される。

図表4 家具類の排出・流通実態の推計



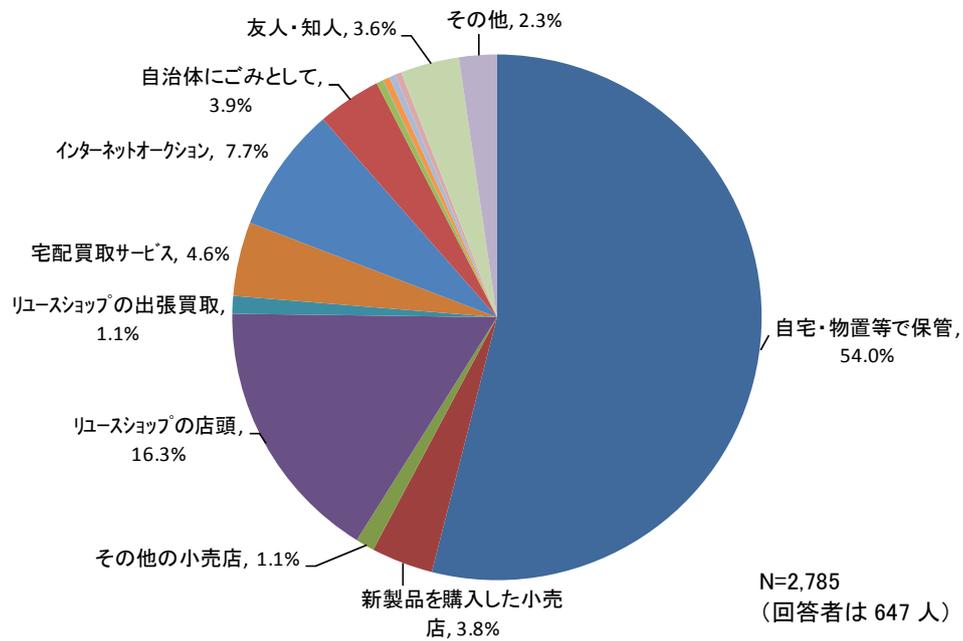
注) 図表中の7つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

(2) ブランド品

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったブランド品の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったブランド品の個数は2,785個（647人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く54.0%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が16.3%、「インターネットオークションで売却」が7.7%と続く。

図表 5 不用となったブランド品の排出先別の割合（個）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

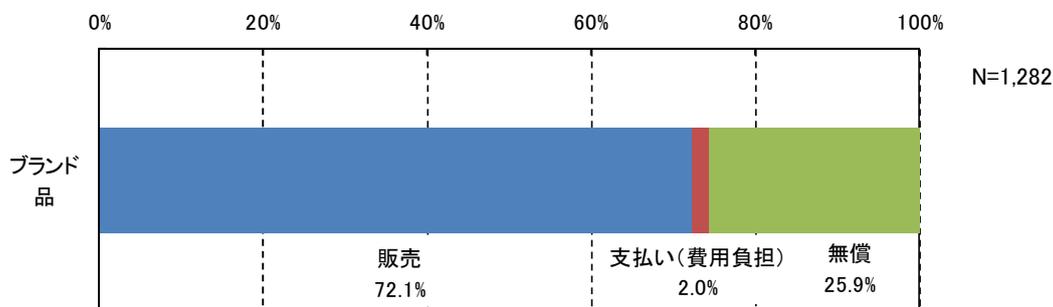
2) 不用品の排出における費用について

不用となったブランド品の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 72.1%、次いで「無償」が 25.9%、「支払い（費用負担）」は 2.0%となっている（図表 6）。また、「支払い（費用負担）」の際の平均単価は 6,235 円/個、「販売」は 10,098 円/個となっている（図表 7）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「リユースショップの店頭で売却」が続き、そのうち「販売」が 97.8%（10,975 円/個）となっている。「インターネットオークションで売却」では「販売」が 94.9%（12,592 円/個）、「無償」が 5.1%、「宅配で郵送する買取サービス」では「販売」が 99.2%（5,893 円/個）となっている。

図表 6 排出・引渡時の費用について（ブランド品）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 7 排出・引渡先別の割合・費用について（ブランド品）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
			(1)販売			(2)支払い(費用負担)			(3)無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	1,503	54.0%							1,503	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	105	3.8%	41	39.0%	8,307	7	6.7%	15,714	57	54.3%
その他の小売店に引渡し・売却	32	1.1%	28	87.5%	4,204	—	—	—	4	12.5%
リユースショップの店頭で売却	455	16.3%	445	97.8%	10,975	6	1.3%	8,417	4	0.9%
リユースショップの出張買取サービス	30	1.1%	28	93.3%	20,736	—	—	—	2	6.7%
宅配で郵送する買取サービス	127	4.6%	126	99.2%	5,893	—	—	—	1	0.8%
インターネットオークションで売却	215	7.7%	204	94.9%	12,592	—	—	—	11	5.1%
自治体にごみとして廃棄	109	3.9%	4	3.7%	3,000	12	11.0%	125	93	85.3%
自治体にリユースの目的で引渡し	11	0.4%	—	—	—	—	—	—	11	100.0%
不用品回収業者に引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	1	0.0%	1	100.0%	8,300	—	—	—	—	—
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	11	0.4%	—	—	—	—	—	—	11	100.0%
引越時に引越業者に引渡し	11	0.4%	—	—	—	—	—	—	11	100.0%
バザー・フリーマーケット等で売却	11	0.4%	10	90.9%	4,250	—	—	—	1	9.1%
友人・知人に譲渡・売却	100	3.6%	13	13.0%	500	—	—	—	87	87.0%
その他	64	2.3%	24	37.5%	1,146	1	1.6%	100	39	60.9%
合計	2,785	100.0%	924	33.2%	10,098	26	0.9%	6,235	1,835	65.9%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) ブランド品の排出・流通実態の推計

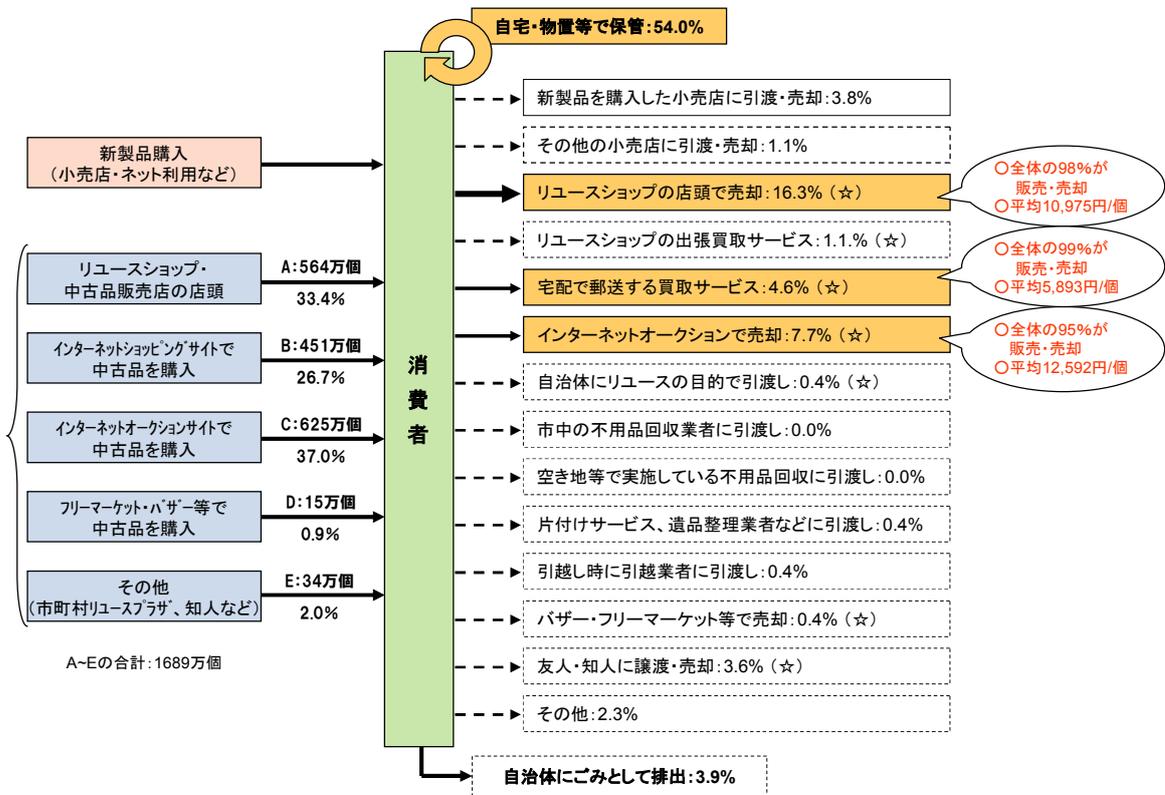
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したブランド品は1689万個、そのうち「インターネットオークションサイト」で購入・入手したものが37.0%、625万個、「リユースショップ・中古品販売店の店頭」が33.4%、564万個、「インターネットショッピングサイト」で購入・入手したものが26.7%、451万個と推計される。

また、過去1年間で不用となったブランド品の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く54.0%、次いで「リユースショップ・中古品販売店の店頭」が16.3%、「インターネットオークションで売却」が7.7%、「宅配で郵送するサービスで売却」が4.6%と続く。

排出・引渡の費用は、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が98%を占め、平均10,975円/個となっている。次いで「インターネットオークションで売却」では販売・売却が95%を占め、平均12,592円/個、「宅配で郵送する買取サービスで売却」では販売・売却が99%、平均5,893円/個となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの（図表中の☆の排出先の合計）は、全体の34.1%、「自宅・物置等で保管」を除き割合を求めると全体の77.9%を占めると推計される。

図表 8 ブランド品の排出・流通実態の推計



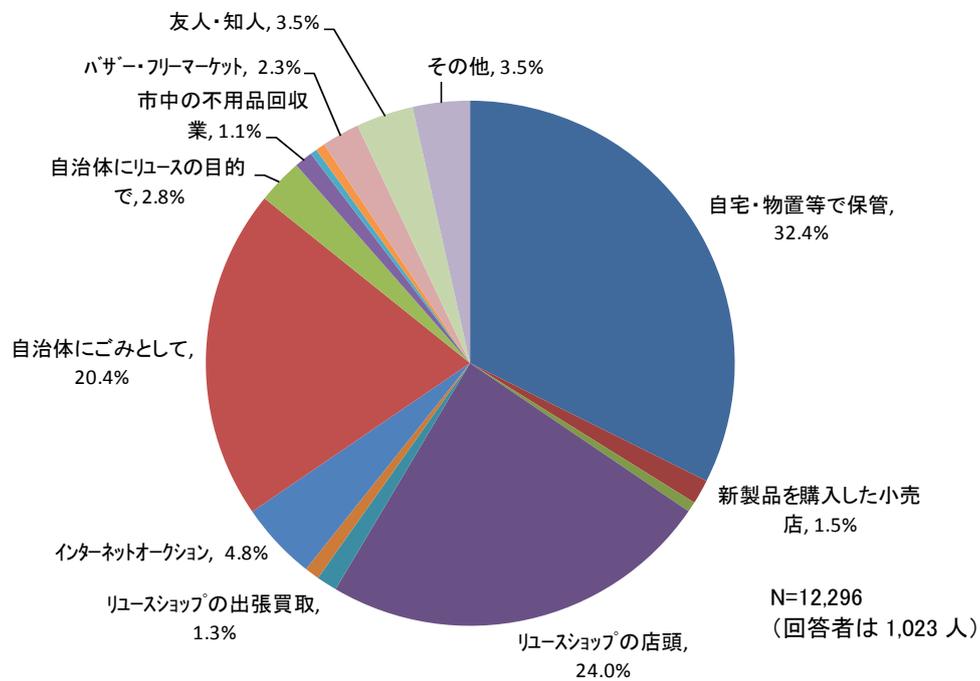
注) 図表中の7つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

(3) ブランド品を除く衣類・服飾品

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったブランド品を除く衣類・服飾品の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったブランド品を除く衣類・服飾品の個数は12,296個（1,023人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く32.4%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が24.0%、「自治体にごみとして廃棄」が20.4%と続く。

図表 9 不用となったブランド品を除く衣類・服飾品の排出先別の割合（個）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

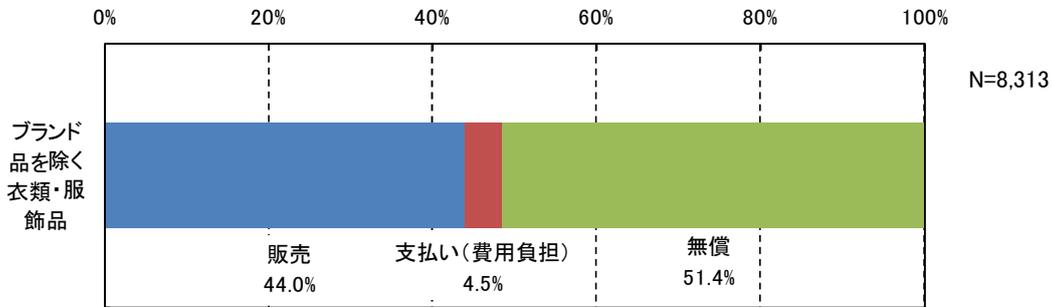
2) 不用品の排出における費用について

不用となったブランド品を除く衣類・服飾品の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「無償」との回答が最も多く 51.4%、次いで「販売」が 44.0%、「支払い（費用負担）」は 4.5%となっている（図表 10）。また、「販売」の際の平均単価は 4,478 円/個、「支払い（費用負担）」は 2,423 円/個となっている（図表 11）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「リユースショップの店頭で売却」が続き、そのうち「販売」が 83.3%（3,260 円/個）、「無償」が 16.7%となっている。「自治体にごみとして廃棄」では「無償」が 85.4%、「支払い（費用負担）」が 12.5%（336 円/個）、「販売」が 2.1%（5,812 円/個）、「インターネットオークションで売却」では「販売」が 81.4%（14,697 円/個）、「無償」が 17.7%となっている。

図表 10 排出・引渡時の費用について（ブランド品を除く衣類・服飾品）



図表 11 排出・引渡先別の割合・費用について（ブランド品を除く衣類・服飾品）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
			(1)販売			(2)支払い(費用負担)		(3)無償		
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	3,983	32.4%							3,983	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	187	1.5%	138	73.8%	3,098	1	0.5%		48	25.7%
その他の小売店に引渡し・売却	76	0.6%	25	32.9%	2,764	2	2.6%	345,666	49	64.5%
リユースショップの店頭で売却	2946	24.0%	2,455	83.3%	3,260	—	—	—	491	16.7%
リユースショップの出張買取サービス	156	1.3%	153	98.1%	948	—	—	—	3	1.9%
宅配で郵送する買取サービス	112	0.9%	61	54.5%	136	1	0.9%	900	50	44.6%
インターネットオークションで売却	586	4.8%	477	81.4%	14,697	5	0.9%	500	104	17.7%
自治体にごみとして廃棄	2505	20.4%	52	2.1%	5,812	313	12.5%	336	2,140	85.4%
自治体にリユースの目的で引渡し	342	2.8%	—	—	—	—	—	—	342	100.0%
不用品回収業者に引渡し	138	1.1%	10	7.2%	50	—	—	—	128	92.8%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	48	0.4%	—	—	—	3	6.3%	500	45	93.8%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	70	0.6%	—	—	—	40	57.1%	2,625	30	42.9%
引渡し時に引越業者に引渡し	1	0.0%	—	—	—	1	100.0%	5,000	—	—
バザー・フリーマーケット等で売却	284	2.3%	242	85.2%	1,513	—	—	—	42	14.8%
友人・知人に譲渡・売却	432	3.5%	11	2.5%	3,682	—	—	—	421	97.5%
その他	430	3.5%	35	8.1%	291	11	2.6%	183	384	89.3%
合計	12,296	100.0%	3,659	29.8%	4,478	377	3.1%	2,423	8,260	67.2%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) ブランド品を除く衣類・服飾品の排出・流通実態の推計

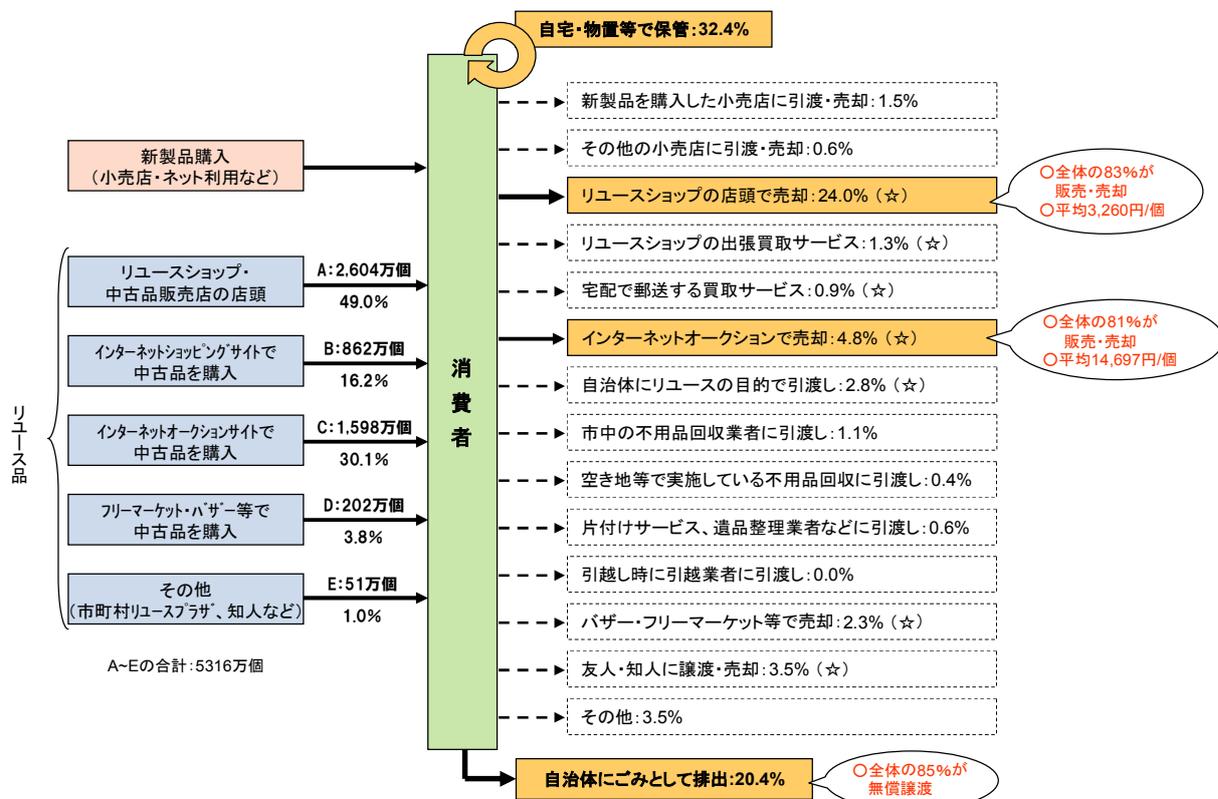
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手した家具類は5316万個、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが49.0%、2,604万個、「インターネットオークションサイト」が30.1%、1,598万個と推計される。

また、過去1年間で不用となったブランド品を除く衣類・服飾品の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く32.4%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が24.0%、「自治体にごみとして廃出」が20.4%、「インターネットオークションで売却」が4.8%と続く。

排出・引渡の費用は、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が83%を占め、その費用は平均3,260円/個となっている。「自治体にごみとして排出」では無償が85%、「インターネットオークションで売却」では販売・売却が81%、平均14,697円/個となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの（図表中の☆の排出先の合計）は、全体の39.5%、「自宅・物置等で保管」を除き割合を求めると全体の61.6%を占めると推計される。

図表 12 ブランド品を除く衣類・服飾品の排出・流通実態の推計



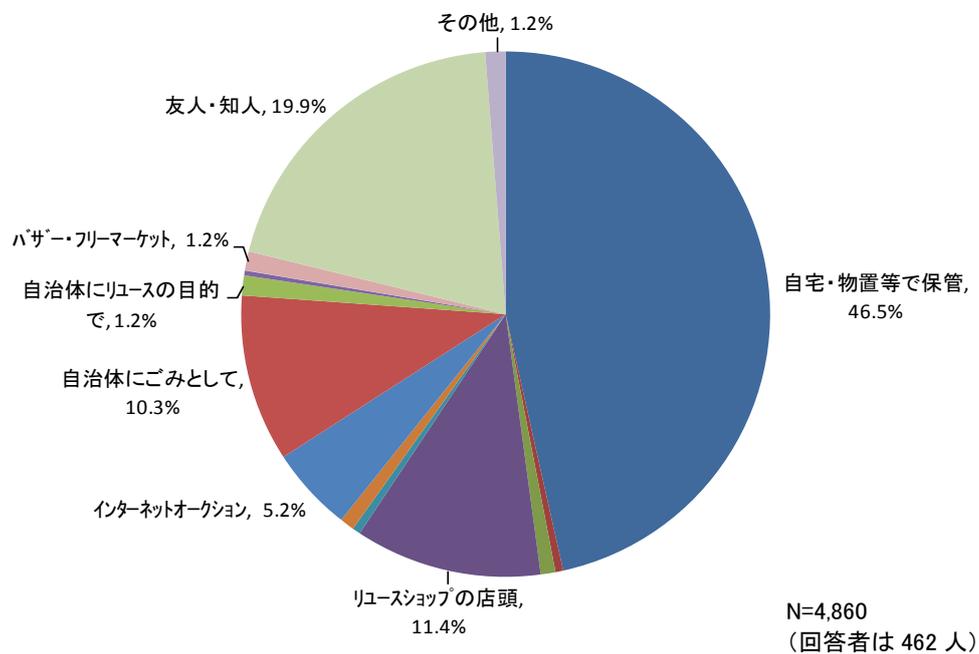
注) 図表中の7つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

(4) ベビー・子供用品

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったベビー・子供用品の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったベビー・子供用品の個数は4,860個（462人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く46.5%、次いで「友人・知人に譲渡・売却」が19.9%、「リユースショップの店頭で売却」が11.4%、「自治体にごみとして廃棄」が10.3%と続く。

図表 13 不用となったベビー・子供用品の排出先別の割合（個）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

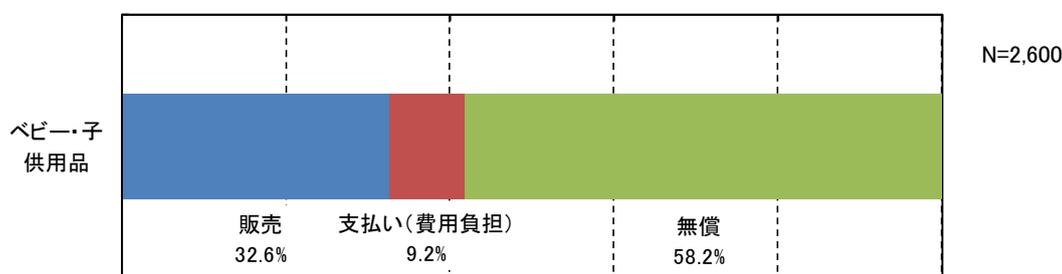
2) 不用品の排出における費用について

不用となったベビー・子供用品の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「無償」との回答が最も多く 58.2%、次いで「販売」が 32.6%、「支払い（費用負担）」は 9.2%となっている（図表 14）。また、「販売」の際の平均単価は 2,236 円/個、「支払い（費用負担）」は 164 円/個となっている（図表 15）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「友人・知人に譲渡・売却」が続く、そのうち 98.5%が「無償」となっている。「リユースショップの店頭で売却」では「販売」が 83.6%（637 円/個）、「無償」が 15.0%、「自治体にごみとして廃棄」では「無償」が 60.9%、「支払い（費用負担）」が 38.9%（33 円/個）となっている。

図表 14 排出・引渡時の費用について（ベビー・子供用品）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 15 排出・引渡先別の割合・費用について（ベビー・子供用品）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
			(1)販売			(2)支払い(費用負担)			(3)無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	2,260	46.5%							2,260	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	23	0.5%	11	47.8%	344	—	—	—	12	52.2%
その他の小売店に引渡し・売却	44	0.9%	13	29.5%	1,123	1	2.3%	4,000	30	68.2%
リユースショップの店頭で売却	555	11.4%	464	83.6%	637	8	1.4%	519	83	15.0%
リユースショップの出張買取サービス	24	0.5%	4	16.7%	1,128	—	—	—	20	83.3%
宅配で郵送する買取サービス	43	0.9%	43	100.0%	18,898	—	—	—	—	—
インターネットオークションで売却	252	5.2%	250	99.2%	2,684	—	—	—	2	0.8%
自治体にごみとして廃棄	499	10.3%	1	0.2%	300	194	38.9%	33	304	60.9%
自治体にリユースの目的で引渡し	60	1.2%	—	—	—	—	—	—	60	100.0%
不用品回収業者に引渡し	14	0.3%	—	—	—	3	21.4%	1,067	11	78.6%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
引越し時に引越業者に引渡し	1	0.0%	—	—	—	1	100.0%	5,000	—	—
バザー・フリーマーケット等で売却	57	1.2%	57	100.0%	1,214	—	—	—	—	—
友人・知人に譲渡・売却	968	19.9%	5	0.5%	5,000	10	1.0%	100	953	98.5%
その他	60	1.2%	—	—	—	22	36.7%	695	38	63.3%
合計	4,860	100.0%	848	17.4%	2,236	239	4.9%	164	3,773	77.6%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) ベビー・子供用品の排出・流通実態の推計

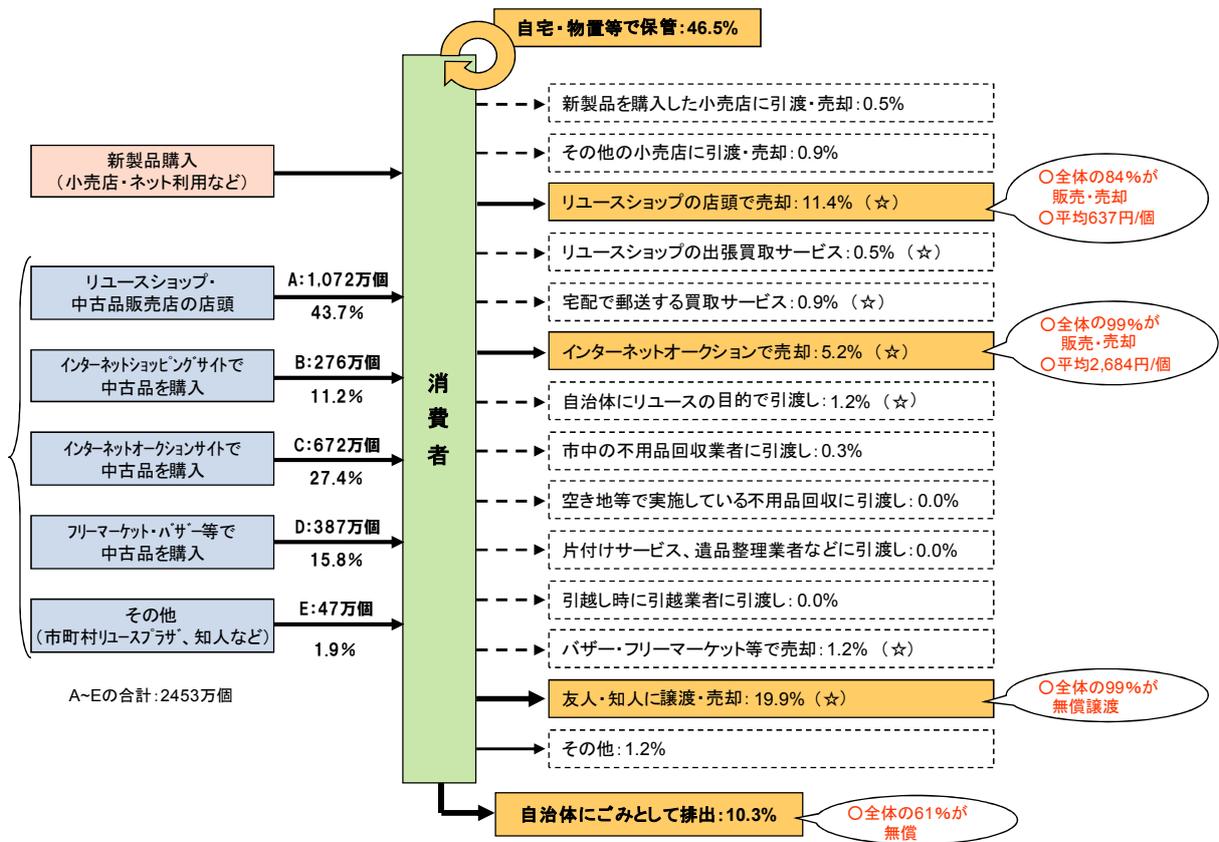
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したベビー・子供用品は 2453 万個、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが 43.7%、1,072 万個、「インターネットオークションサイト」が 27.4%、672 万個、「フリーマーケット・バザー」が 15.8%、387 万個と推計される。

また、過去1年間で不用となったベビー・子供用品の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く 46.5%、次いで「友人・知人に譲渡・売却」が 19.9%、「リユースショップの店頭で売却」が 11.4%、「自治体にごみとして排出」が 10.3%と続く。

排出・引渡の費用は、「友人・知人に譲渡・売却」では無償が 99%を占めている。「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が 84%、平均 637 円/個、「自治体にごみとして排出」無償が 61%、「インターネットオークションで売却」では販売・売却が 99%、平均 2,684 円/個となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの（図表中の☆の排出先の合計）は、全体の 40.3%、「自宅・物置等で保管」を除き割合を求めると全体の 77.1%を占めると推計される。

図表 16 ベビー・子供用品の排出・流通実態の推計



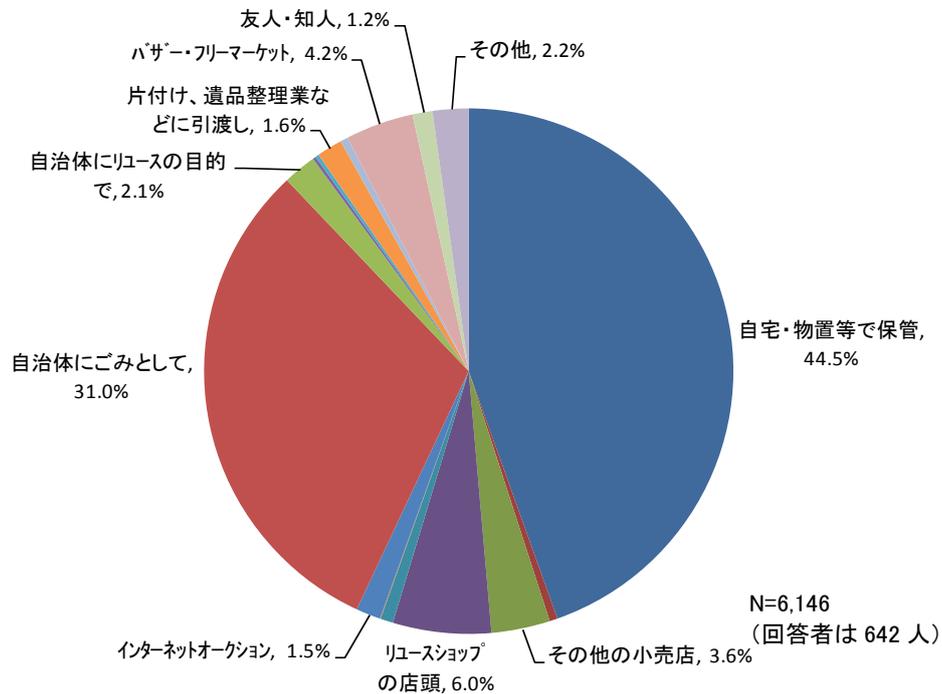
注) 図表中の7つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

(5) 日用品・生活雑貨

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となった日用品・生活雑貨の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となった日用品・生活雑貨の個数は6,146個（642人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く44.5%、次いで「自治体にごみとして廃棄」が31.0%、「リユースショップの店頭で売却」が6.0%と続く。

図表 17 不用となった日用品・生活雑貨の排出先別の割合（個）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

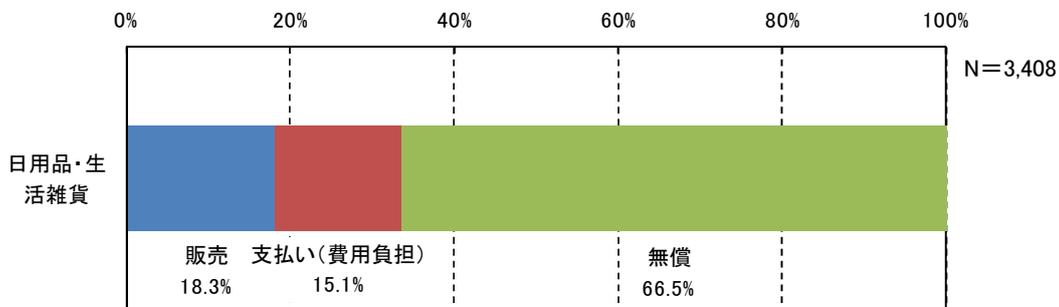
2) 不用品の排出における費用について

不用となった日用品・生活雑貨の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「無償」との回答が最も多く 66.5%、次いで「販売」が 18.3%、「支払い（費用負担）」は 15.1%となっている（図表 18）。また、「販売」の際の平均単価は 2,231 円/個、「支払い（費用負担）」は 670 円/個となっている（図表 19）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「自治体にごみとして廃棄」が続き、そのうち「無償」が 78.6%、「支払い（費用負担）」が 20.7%（265 円/個）となっている。「リユースショップの店頭で売却」では「販売」が 93.0%（3,314 円/個）、「無償」が 6.8%、「バザー・フリーマーケット等で売却」では「無償」が 57.8%、「販売」が 42.2%（658 円/個）となっている。

図表 18 排出・引渡時の費用について（日用品・生活雑貨）



図表 19 排出・引渡先別の割合・費用について（日用品・生活雑貨）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
			(1)販売			(2)支払い(費用負担)			(3)無償	
			個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	2,738	44.5%							2,738	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	30	0.5%	17	56.7%	1,529	—	—	—	13	43.3%
その他の小売店に引渡し・売却	220	3.6%	16	7.3%	2,125	—	—	—	204	92.7%
リユースショップの店頭で売却	369	6.0%	343	93.0%	3,314	1	0.3%	5,000	25	6.8%
リユースショップの出張買取サービス	48	0.8%	40	83.3%	515	1	2.1%	5,000	7	14.6%
宅配で郵送する買取サービス	2	0.0%	—	—	—	1	50.0%	2,000	1	50.0%
インターネットオークションで売却	93	1.5%	83	89.2%	939	—	—	—	10	10.8%
自治体にごみとして廃棄	1,905	31.0%	13	0.7%	1,385	395	20.7%	265	1,497	78.6%
自治体にリユースの目的で引渡し	126	2.1%	—	—	—	—	—	—	126	100.0%
不用品回収業者に引渡し	12	0.2%	—	—	—	3	25.0%	2,000	9	75.0%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	13	0.2%	—	—	—	3	23.1%	300	10	76.9%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	96	1.6%	—	—	—	61	63.5%	1,697	35	36.5%
引越し時に引越業者に引渡し	28	0.5%	—	—	—	8	28.6%	4,250	20	71.4%
バザー・フリーマーケット等で売却	256	4.2%	108	42.2%	658	—	—	—	148	57.8%
友人・知人に譲渡・売却	75	1.2%	3	4.0%	3,000	1	1.3%	10,000	71	94.7%
その他	135	2.2%	2	1.5%	500	42	31.1%	1,774	91	67.4%
合計	6,146	100.0%	625	10.2%	2,231	516	8.4%	670	5,005	81.4%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) 日用品・生活雑貨の排出・流通実態の推計

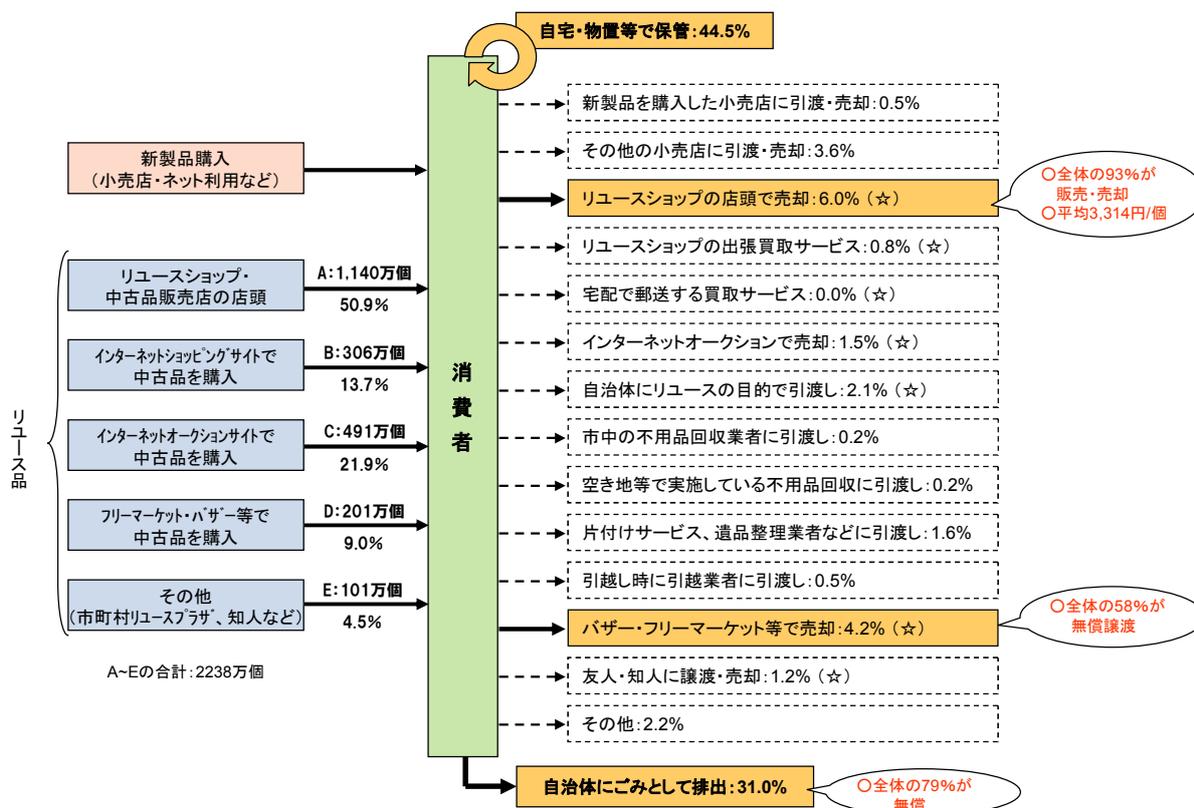
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手した日用品・生活雑貨は 2238 万個、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが 50.9%、1,140 万個、「インターネットオークションサイト」が 21.9%、491 万個、「インターネットショッピングサイト」が 13.7%、306 万個と推計される。

また、過去1年間で不用となった日用品・生活雑貨の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く 44.5%、次いで「自治体にごみとして廃出」が 31.0%、「リユースショップの店頭で売却」が 6.0%、「バザー・フリーマーケット等で売却」が 4.2%と続く。

排出・引渡の費用は、「自治体にごみとして排出」では無償が 79%を占めている。「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が 93%、平均 3,314 円/個、「バザー・フリーマーケット等で売却」では無償が 58%となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの（図表中の☆の排出先の合計）は、全体の 15.8%、「自宅・物置等で保管」を除き割合を求めると全体の 29.6%を占めると推計される。

図表 20 日用品・生活雑貨の排出・流通実態の推計



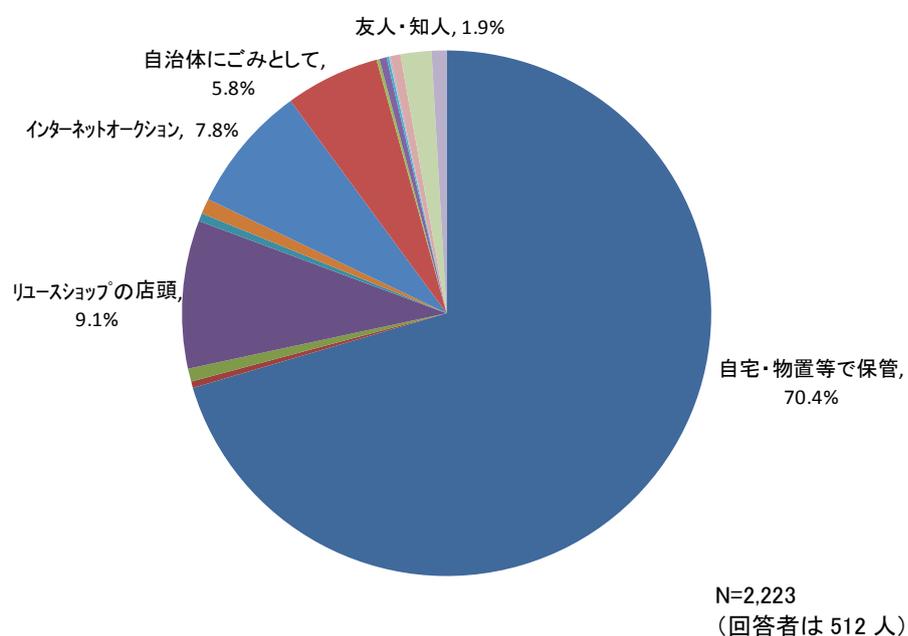
注) 図表中の7つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「自治体にごみとして排出」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

(6) スポーツ・レジャー用品

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったスポーツ・レジャー用品の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったスポーツ・レジャー用品の個数は2,223個(512人からの回答)、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く70.4%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が9.1%、「インターネットオークションで売却」が7.8%、「自治体にごみとして廃棄」が5.8%と続く。

図表 21 不用となったスポーツ・レジャー用品の排出先別の割合(個)



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

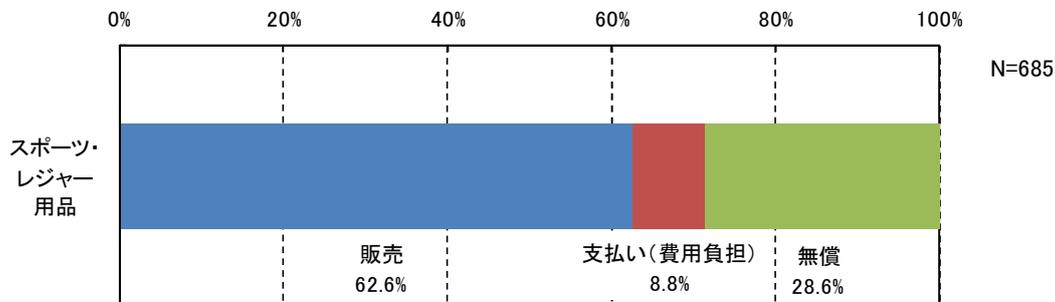
2) 不用品の排出における費用について

不用となったスポーツ・レジャー用品の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 62.6%、次いで「無償」が 28.6%、「支払い（費用負担）」は 8.8%となっている（図表 22）。また、「販売」の際の平均単価は 6,524 円/個、「支払い（費用負担）」は 464 円/個となっている（図表 23）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「リユースショップの店頭で売却」が続き、そのうち「販売」が 94.1%（2,017 円/個）、「無償」が 5.4%となっている。「インターネットオークションで売却」では「販売」が 94.8%（12,379 円/個）、「無償」が 4.6%、「自治体にごみとして廃棄」では「無償」が 60.9%、「支払い（費用負担）」が 35.2%（353 円/個）、「販売」が 3.9%（1,000 円/個）となっている。

図表 22 排出・引渡時の費用について（スポーツ・レジャー用品）



図表 23 排出・引渡先別の割合・費用について（スポーツ・レジャー用品）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
			(1)販売			(2)支払い(費用負担)		(3)無償		
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	1,565	70.4%							1,565	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	9	0.4%	7	77.8%	5,108	—	—	—	2	22.2%
その他の小売店に引渡し・売却	18	0.8%	14	77.8%	11,500	—	—	—	4	22.2%
リユースショップの店頭で売却	202	9.1%	190	94.1%	2,017	1	0.5%	1,000	11	5.4%
リユースショップの出張買取サービス	11	0.5%	10	90.9%	3,000	—	—	—	1	9.1%
宅配で郵送する買取サービス	21	0.9%	5	23.8%	2,710	—	—	—	16	76.2%
インターネットオークションで売却	174	7.8%	165	94.8%	12,379	1	0.6%	100	8	4.6%
自治体にごみとして廃棄	128	5.8%	5	3.9%	1,000	45	35.2%	353	78	60.9%
自治体にリユースの目的で引渡し	4	0.2%	—	—	—	1	25.0%	500	3	75.0%
不用品回収業者に引渡し	10	0.4%	—	—	—	2	20.0%	1,250	8	80.0%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	3	0.1%	—	—	—	2	66.7%	100	1	33.3%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
引渡し時に引越業者に引渡し	2	0.1%	—	—	—	1	50.0%	5,000	1	50.0%
バザー・フリーマーケット等で売却	14	0.6%	12	85.7%	1,300	—	—	—	2	14.3%
友人・知人に譲渡・売却	42	1.9%	—	—	—	—	—	—	42	100.0%
その他	20	0.9%	4	20.0%	325	5	25.0%	350	11	55.0%
合計	2,223	100.0%	412	18.5%	6,524	58	2.6%	464	1,753	78.9%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) スポーツ・レジャー用品の排出・流通実態の推計

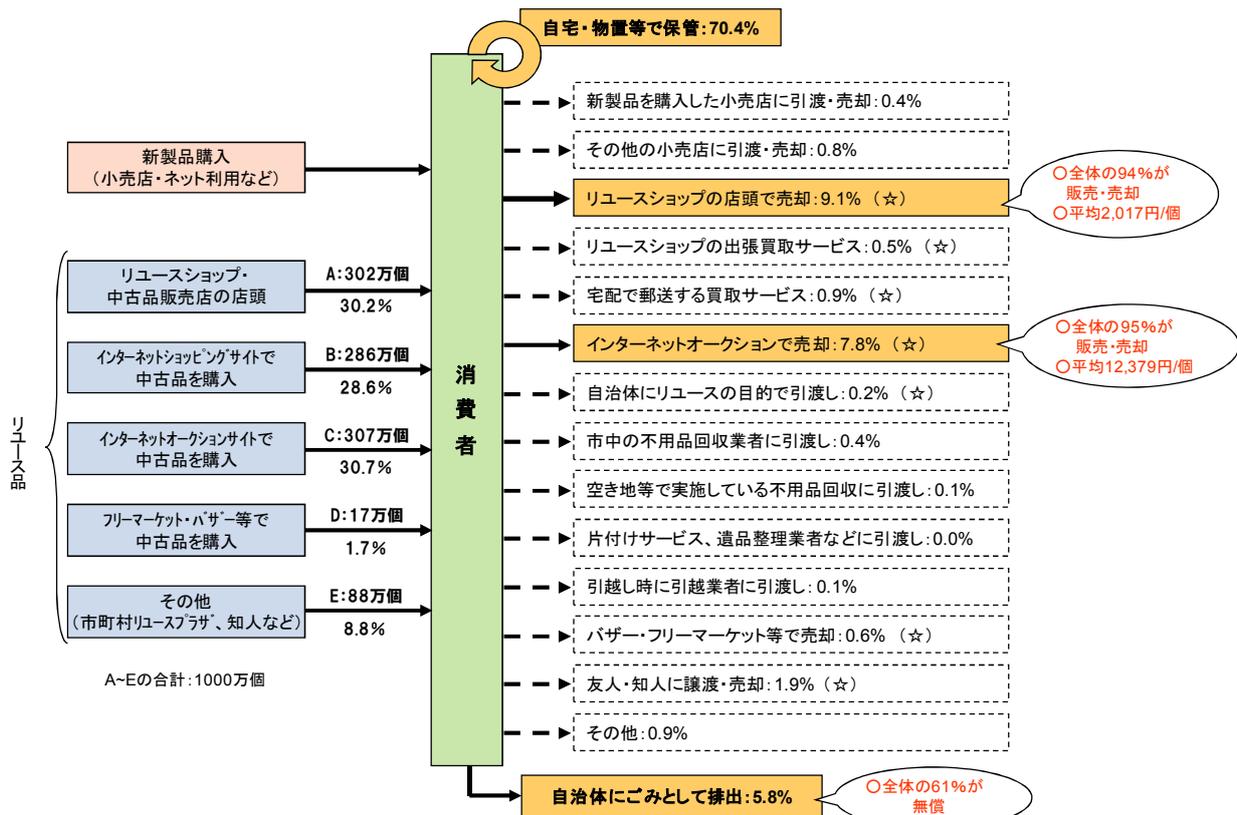
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したスポーツ・レジャー用品は1000万個、そのうち「インターネットオークションサイト」で購入・入手したものが30.7%、307万個、「リユースショップ・中古品販売店の店頭」が30.2%、302万個と推計される。

また、過去1年間で不用となったスポーツ・レジャー用品の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く70.4%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が9.1%、「インターネットオークションで売却」が7.8%、「自治体にごみとして排出」が5.8%と続く。

排出・引渡の費用は、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が94%を占め、平均2,017円/個となっている。「インターネットオークションで売却」では販売・売却が95%、平均12,379円/個、「自治体にごみとして排出」では無償が61%となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの（図表中の☆の排出先の合計）は、全体の21.1%、「自宅・物置等で保管」を除き割合を求めると全体の73.4%を占めると推計される。

図表 24 スポーツ・レジャー用品の排出・流通実態の推計



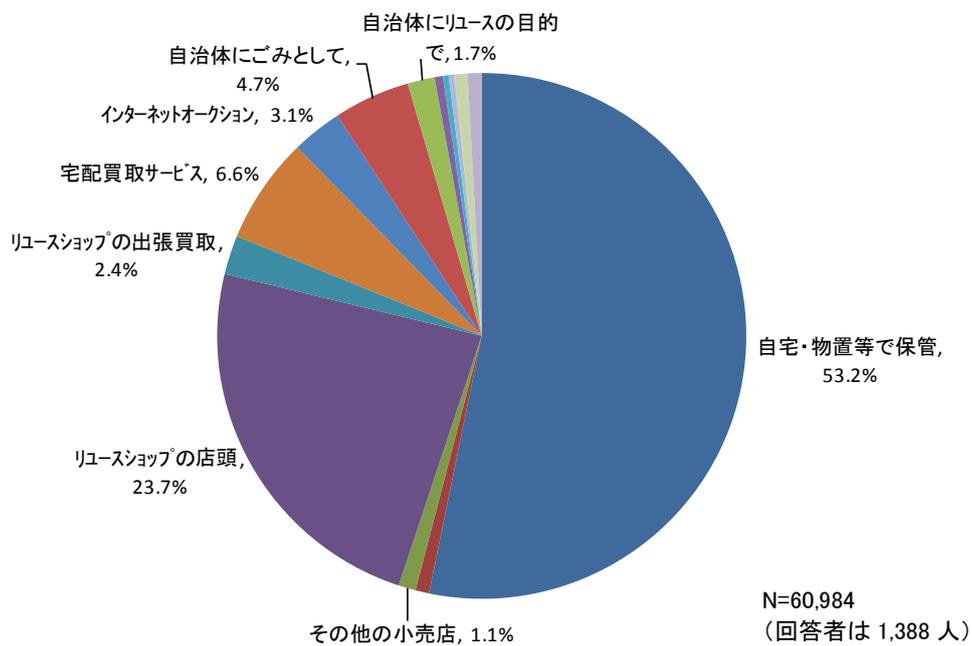
注) 図表中の7つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

(7) 書籍

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となった書籍の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となった書籍の冊数は60,984冊(1,388人からの回答)、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く53.2%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が23.7%、「宅配買取サービスで売却」が6.6%、「自治体にごみとして廃棄」が4.7%と続く。

図表 25 不用となった書籍の排出先別の割合（冊）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

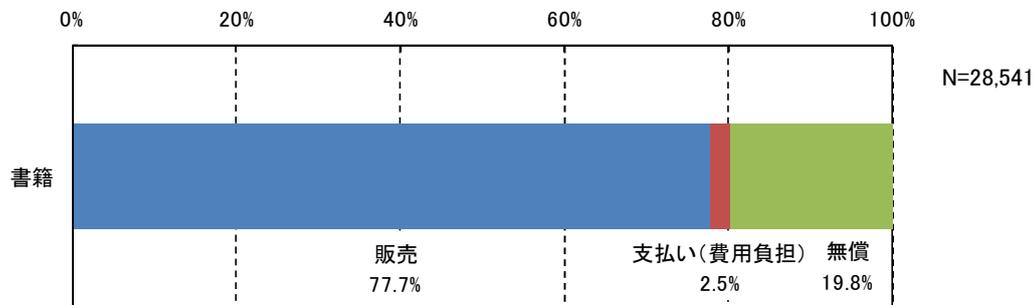
2) 不用品の排出における費用について

不用となった書籍の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く77.7%、次いで「無償」が19.8%、「支払い（費用負担）」は2.5%となっている（図表 26）。また、「販売」の際の平均単価は2,225 円/冊、「支払い（費用負担）」は37 円/冊となっている（図表 27）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「リユースショップの店頭で売却」が続く、そのうち「販売」が97.8%（1,879 円/冊）、「無償」が2.2%となっている。「宅配で郵送する買取サービス」では「販売」が89.6%（4,874 円/冊）、「無償」が10.4%、「自治体にごみとして廃棄」では「無償」が76.7%、「支払い（費用負担）」が22.4%（17 円/冊）となっている。

図表 26 排出・引渡時の費用について（書籍）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 27 排出・引渡先別の割合・費用について（書籍）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
	個数	割合	(1)販売			(2)支払い(費用負担)			(3)無償	
			個数	割合	単価(円/冊)	個数	割合	単価(円/冊)	個数	割合
自宅・物置等で保管	32,443	53.2%							32,443	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	502	0.8%	486	96.8%	696	—	—	—	16	3.2%
その他の小売店に引渡し・売却	645	1.1%	575	89.1%	2,135	—	—	—	70	10.9%
リユースショップの店頭で売却	14459	23.7%	14,143	97.8%	1,879	—	—	—	316	2.2%
リユースショップの出張買取サービス	1456	2.4%	1,350	92.7%	1,670	1	0.1%	5,000	105	7.2%
宅配で郵送する買取サービス	3995	6.6%	3,580	89.6%	4,874	—	—	—	415	10.4%
インターネットオークションで売却	1871	3.1%	1,799	96.2%	742	—	—	—	72	3.8%
自治体にごみとして廃棄	2856	4.7%	25	0.9%	108	640	22.4%	17	2,191	76.7%
自治体にリユースの目的で引渡し	1011	1.7%	—	—	—	—	—	—	1,011	100.0%
不用品回収業者に引渡し	317	0.5%	30	9.5%	50	—	—	—	287	90.5%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	205	0.3%	—	—	—	—	—	—	205	100.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
引越し時に引越業者に引渡し	201	0.3%	—	—	—	1	0.5%	5,000	200	99.5%
バザー・フリーマーケット等で売却	33	0.1%	33	100.0%	34	—	—	—	—	—
友人・知人に譲渡・売却	469	0.8%	65	13.9%	1,468	—	—	—	404	86.1%
その他	521	0.9%	88	16.9%	654	73	14.0%	72	360	69.1%
合計	60,984	100.0%	22,174	36.4%	2,225	715	1.2%	37	38,095	62.5%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) 書籍の排出・流通実態の推計

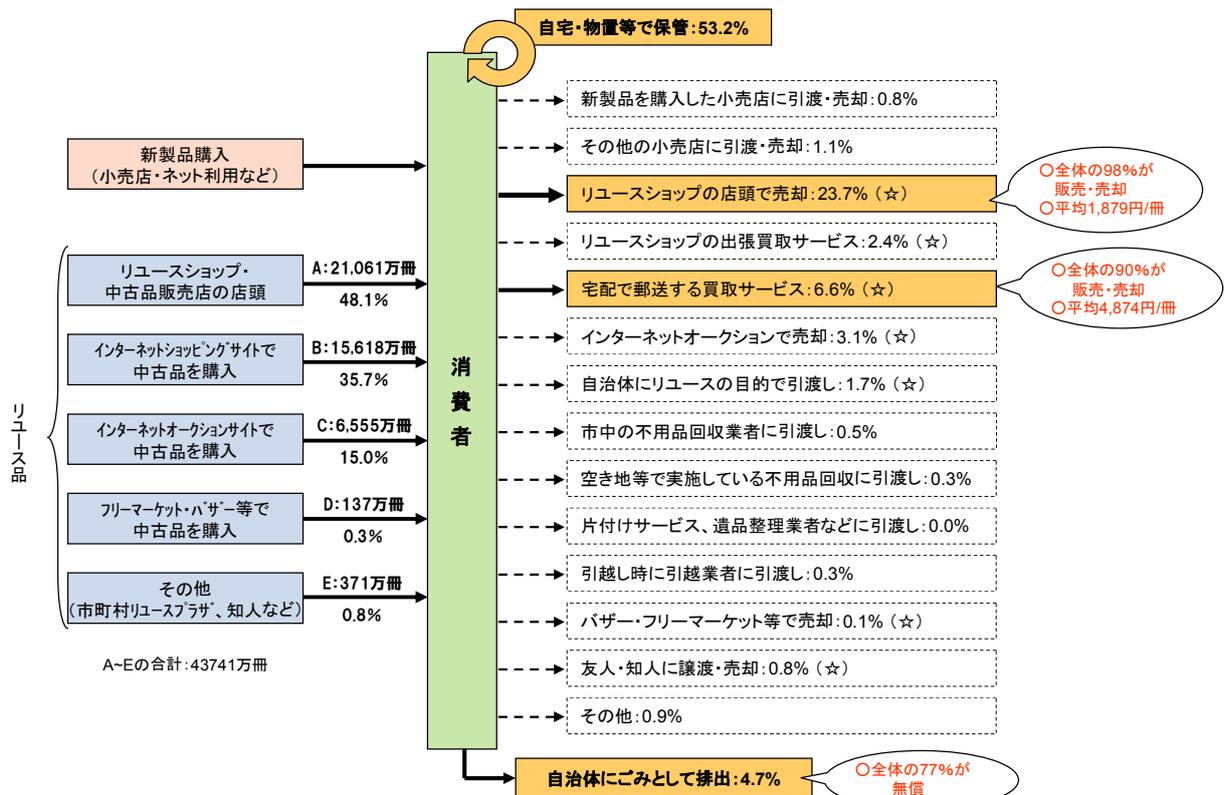
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手した書籍は43,741万冊、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが48.1%、21,061万冊、「インターネットショッピングサイト」が35.7%、15,618万冊、「インターネットオークションサイト」が15.0%、6,555万冊と推計される。

また、過去1年間で不用となった書籍の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く53.2%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が23.7%、「宅配で郵送する買取サービス」が6.6%、「自治体にごみとして排出」が4.7%と続く。

排出・引渡の費用は、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が98%を占め、平均1,879円/冊となっている。「宅配で郵送する買取サービス」では販売・売却が90%、「自治体にごみとして排出」では無償が77%となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの（図表中の☆の排出先の合計）は、全体の38.2%、「自宅・物置等で保管」を除き割合を求めると全体の83.1%を占めると推計される。

図表 28 書籍の排出・流通実態の推計

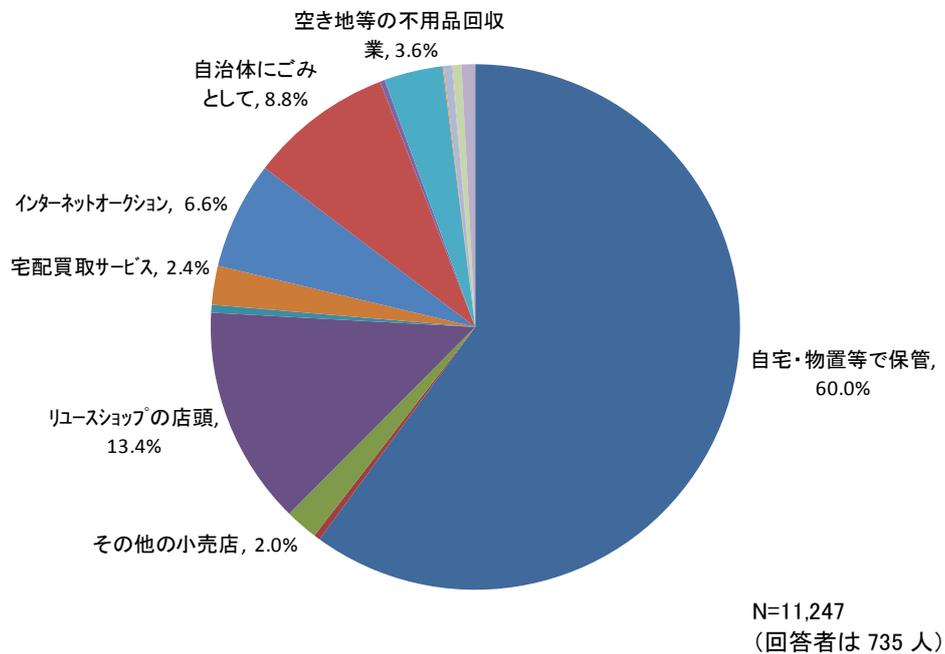


(8) ソフト・メディア類

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったソフト・メディア類の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったソフト・メディア類の個数は11,247個（735人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く60.0%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が13.4%、「自治体にごみとして廃棄」が8.8%、「インターネットオークションで売却」が6.6%と続く。

図表 29 不用となったソフト・メディア類の排出先別の割合（個）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

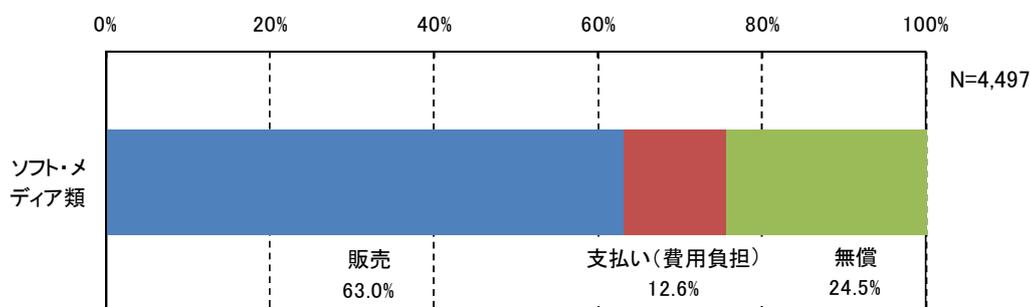
2) 不用品の排出における費用について

不用となったソフト・メディア類の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 63.0%、次いで「無償」が 24.5%、「支払い（費用負担）」は 12.6%となっている（図表 30）。また、「販売」の際の平均単価は 4,341 円/個、「支払い（費用負担）」は 649 円/個となっている（図表 31）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「リユースショップの店頭で売却」が続く、そのうち「販売」が 97.6%（3,185 円/個）、「無償」が 2.4%となっている。「自治体にごみとして廃棄」では「支払い（費用負担）」が 50.4%（647 円/個）、「無償」が 49.1%、「インターネットオークションで売却」では「販売」が 96.9%（4,118 円/個）、「無償」が 3.1%となっている。

図表 30 排出・引渡時の費用について（ソフト・メディア類）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 31 排出・引渡先別の割合・費用について（ソフト・メディア類）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
			(1)販売		(2)支払い(費用負担)		(3)無償			
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	6,750	60.0%							6,750	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	44	0.4%	41	93.2%	1,585	—	—	—	3	6.8%
その他の小売店に引渡し・売却	226	2.0%	226	100.0%	13,169	—	—	—	—	—
リユースショップの店頭で売却	1512	13.4%	1,475	97.6%	3,185	—	—	—	37	2.4%
リユースショップの出張買取サービス	56	0.5%	43	76.8%	2,948	5	8.9%	3,000	8	14.3%
宅配で郵送する買取サービス	269	2.4%	261	97.0%	5,124	1	0.4%	500	7	2.6%
インターネットオークションで売却	742	6.6%	719	96.9%	4,118	—	—	—	23	3.1%
自治体にごみとして廃棄	989	8.8%	5	0.5%	100	498	50.4%	647	486	49.1%
自治体にリユースの目的で引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
不用品回収業者に引渡し	33	0.3%	8	24.2%	1,188	—	—	—	25	75.8%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	402	3.6%	2	0.5%	2,000	—	—	—	400	99.5%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	10	0.1%	10	100.0%	2,000	—	—	—	—	—
引越し時に引越業者に引渡し	52	0.5%	—	—	—	2	3.8%	5,000	50	96.2%
バザー・フリーマーケット等で売却	6	0.1%	6	100.0%	1,667	—	—	—	—	—
友人・知人に譲渡・売却	62	0.6%	20	32.3%	150	17	27.4%	882	25	40.3%
その他	94	0.8%	15	16.0%	5,133	43	45.7%	100	36	38.3%
合計	11,247	100.0%	2,831	25.2%	4,341	566	5.0%	649	7,850	69.8%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) ソフト・メディア類の排出・流通実態の推計

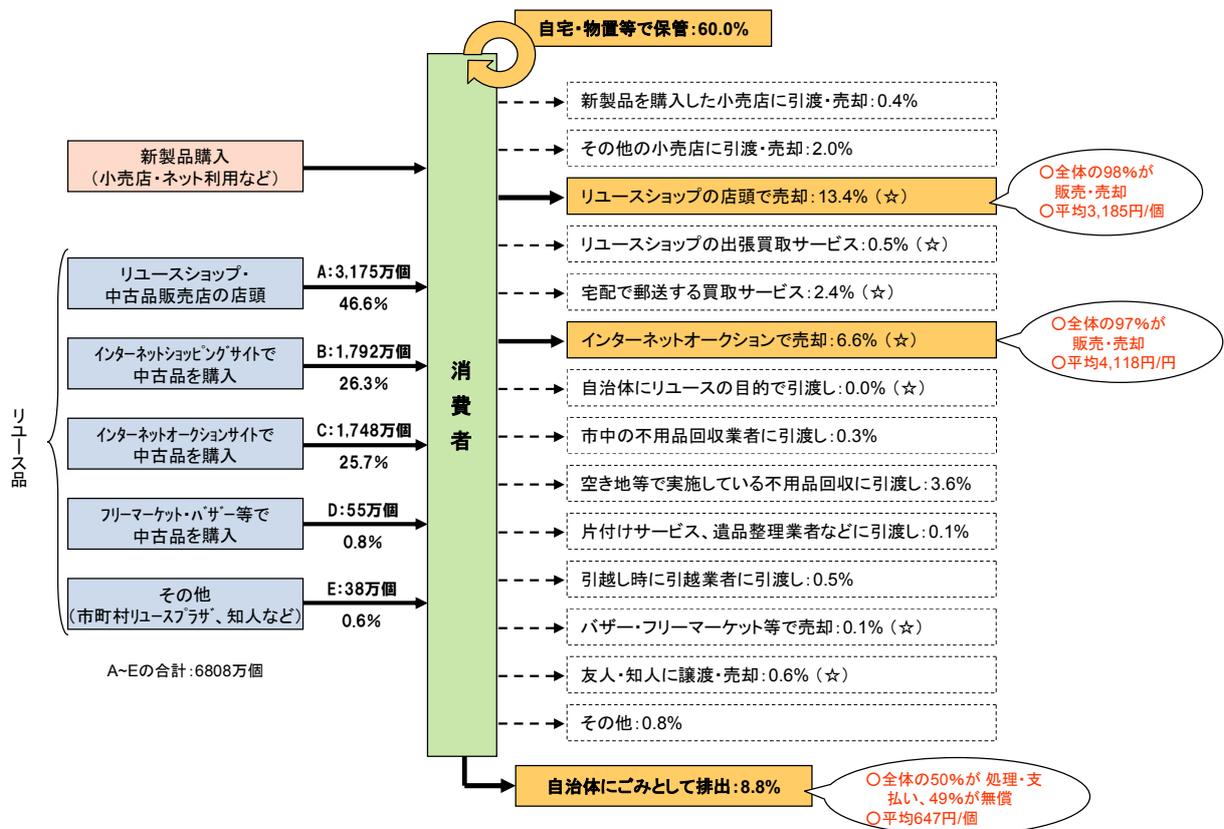
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したソフト・メディア類は6,808万個、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが46.6%、3,175万個、「インターネットショッピングサイト」が26.3%、1,792万個、「インターネットオークションサイト」が25.7%、1,748万個と推計される。

また、過去1年間で不用となったソフト・メディア類の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く60.0%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が13.4%、「自治体にごみとして排出」が8.8%、「インターネットオークションで売却」が6.6%と続く。

排出・引渡の費用は、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が98%を占め、平均3,185円/個となっている。「自治体にごみとして排出」では支払が50%でその費用が平均647円/個、無償が49%、「インターネットオークションで売却」では販売・売却が97%、平均4,118円/個となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの（図表中の☆の排出先の合計）は、全体の23.5%、「自宅・物置等で保管」を除き割合を求めると全体の60.1%を占めると推計される。

図表 32 ソフト・メディア類の排出・流通実態の推計

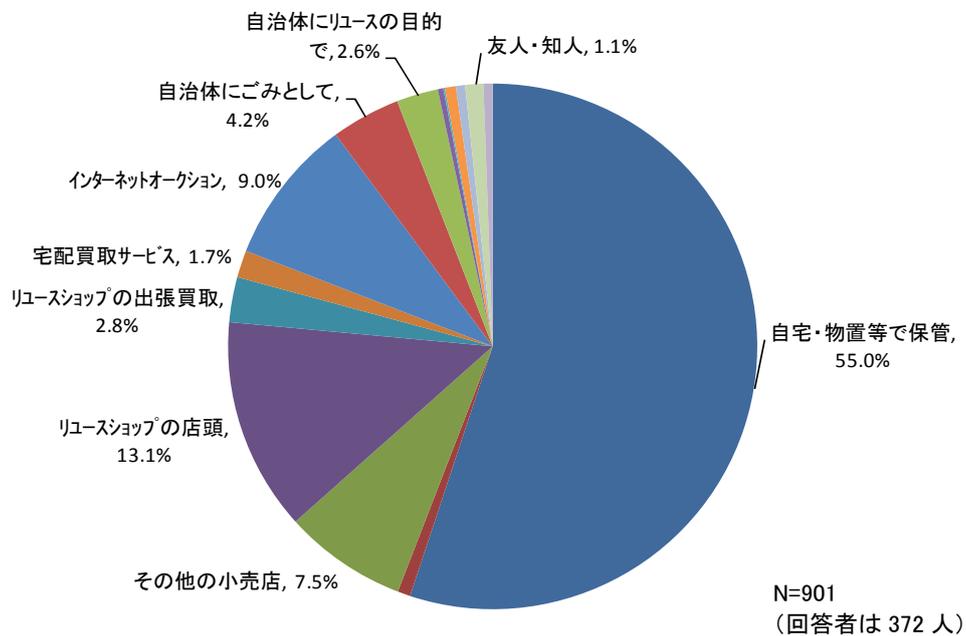


(9) ゲーム機器

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったゲーム機器の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったゲーム機器の個数は901個（372人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く55.0%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が13.1%、「インターネットオークションで売却」が9.0%、「その他の小売店で売却」が7.5%と続く。

図表 33 不用となったゲーム機器の排出先別の割合（個）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

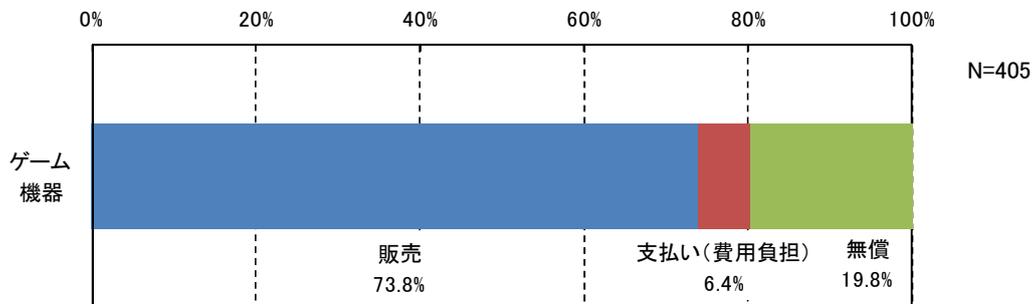
2) 不用品の排出における費用について

不用となったゲーム機器の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く73.8%、次いで「無償」が19.8%、「支払い（費用負担）」は6.4%となっている（図表 34）。また、「販売」の際の平均単価は10,069 円/個、「支払い（費用負担）」は710 円/個となっている（図表 35）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「リユースショップの店頭で売却」が続き、そのうち「販売」が99.2%（6,803 円/個）となっている。「インターネットオークションで売却」では「販売」が97.5%（2,918 円/個）、「無償」が2.5%、「その他の小売店に引渡し・売却」では「販売」が91.2%（25,065 円/個）、「無償」が8.8%となっている。

図表 34 排出・引渡時の費用について（ゲーム機器）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 35 排出・引渡先別の割合・費用について（ゲーム機器）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
	個数	割合	(1)販売			(2)支払い(費用負担)		(3)無償		
			個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	496	55.0%						496	100.0%	
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	7	0.8%	5	71.4%	3,531	—	—	—	2	28.6%
その他の小売店に引渡し・売却	68	7.5%	62	91.2%	25,065	—	—	—	6	8.8%
リユースショップの店頭で売却	118	13.1%	117	99.2%	6,803	—	—	—	1	0.8%
リユースショップの出張買取サービス	25	2.8%	19	76.0%	15,579	—	—	—	6	24.0%
宅配で郵送する買取サービス	15	1.7%	10	66.7%	3,450	—	—	—	5	33.3%
インターネットオークションで売却	81	9.0%	79	97.5%	2,918	—	—	—	2	2.5%
自治体にごみとして廃棄	38	4.2%	—	—	—	20	52.6%	173	18	47.4%
自治体にリユースの目的で引渡し	23	2.6%	1	4.3%	2,500	—	—	—	22	95.7%
不用品回収業者に引渡し	3	0.3%	—	—	—	—	—	—	3	100.0%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	1	0.1%	—	—	—	—	—	—	1	100.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	6	0.7%	—	—	—	4	66.7%	2,500	2	33.3%
引越し時に引越業者に引渡し	5	0.6%	—	—	—	1	20.0%	5,000	4	80.0%
バザー・フリーマーケット等で売却	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
友人・知人に譲渡・売却	10	1.1%	3	30.0%	10,833	—	—	—	7	70.0%
その他	5	0.6%	3	60.0%	15,667	1	20.0%	10	1	20.0%
合計	901	100.0%	299	33.2%	10,069	26	2.9%	710	576	63.9%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) ゲーム機器の排出・流通実態の推計

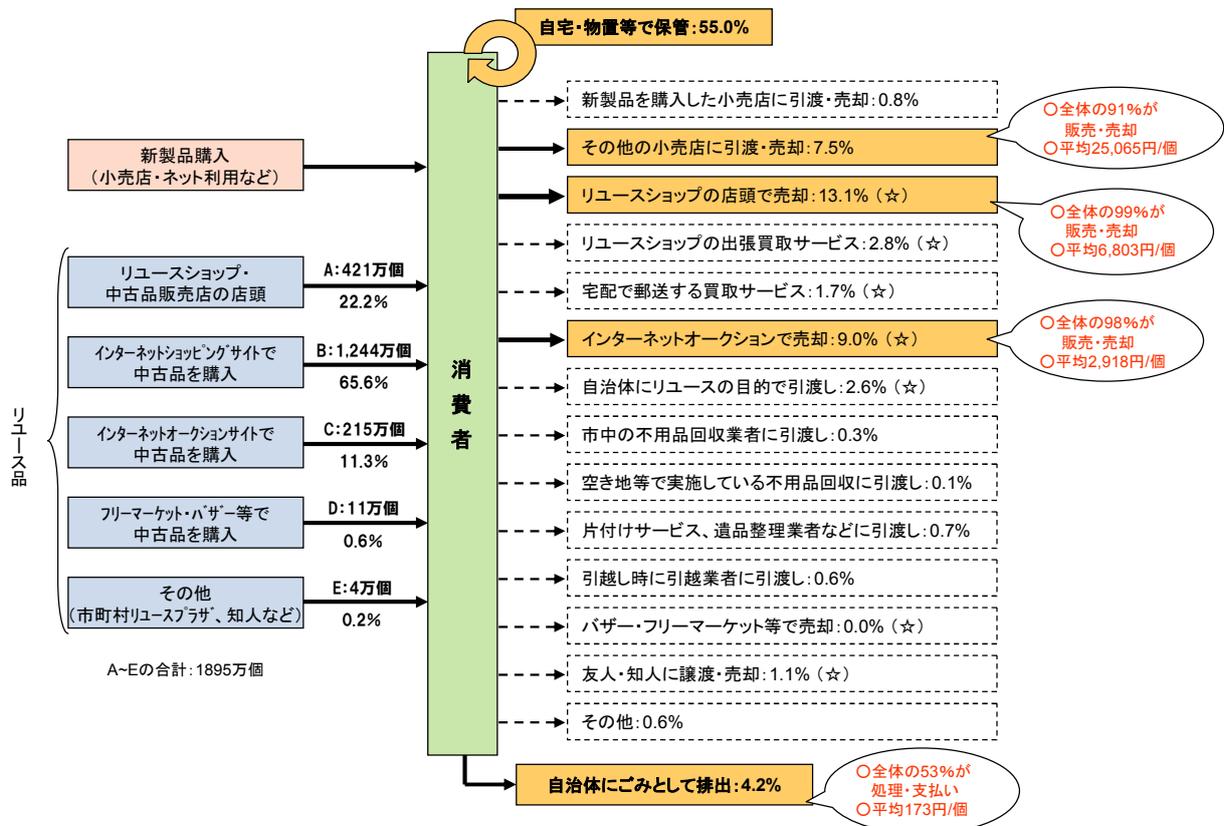
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したゲーム機器は1895万個、そのうち「インターネットショッピングサイト」で購入・入手したものが65.6%、1,244万個、「リユースショップ・中古品販売店の店頭」が22.2%、421万台。「インターネットオークションサイト」が11.3%、215万個と推計される。

また、過去1年間で不用となったゲーム機器の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く55.0%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が13.1%、「インターネットオークションで売却」が9.0%、「その他の小売店に引渡し・売却」が7.5%、「自治体にごみとして排出」が4.2%と続く。

排出・引渡の費用は、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が99%を占め、平均6,803円/個となっている。「インターネットオークションで売却」では販売・売却が98%、平均2,918円/個、「その他の小売店に引渡し・売却」では販売・売却が91%、平均25,065円/個となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの（図表中の☆の排出先の合計）は、全体の30.2%、「自宅・物置等で保管」を除き割合を求めると全体の68.0%を占めると推計される。

図表 36 ゲーム機器の排出・流通実態の推計



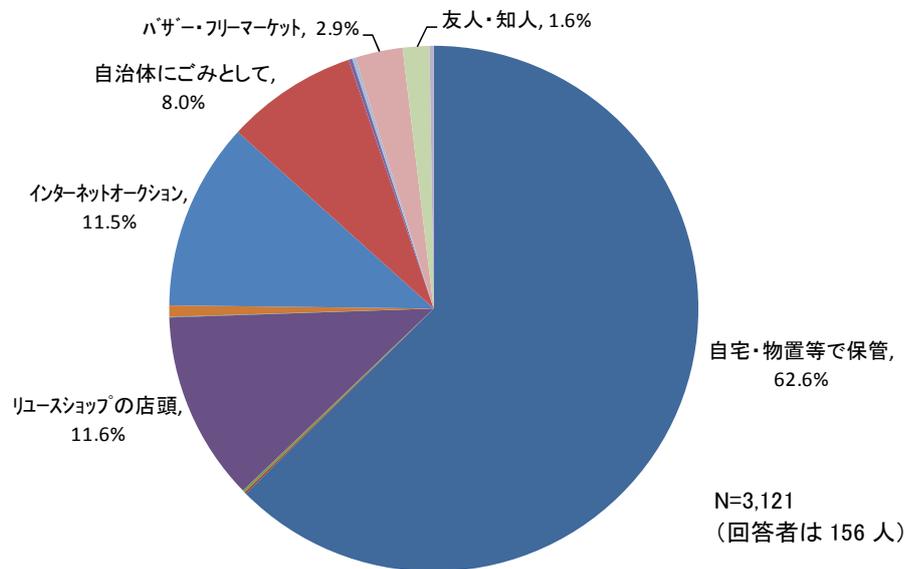
注) 図表中の7つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

(10) 玩具・模型

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となった玩具・模型の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となった玩具・模型の個数は3,121個（156人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く62.6%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が11.6%、「インターネットオークションで売却」が11.5%、「自治体にごみとして廃棄」が8.0%と続く。

図表 37 不用となった玩具・模型の排出先別の割合（個）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。

※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

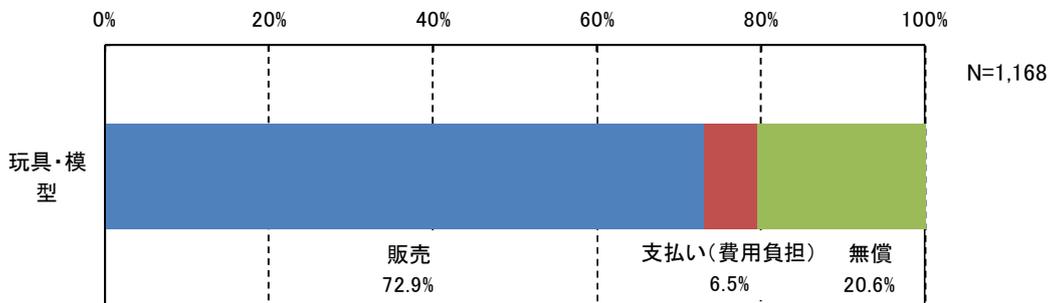
2) 不用品の排出における費用について

不用となった玩具・模型の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く72.9%、次いで「無償」が20.6%、「支払い（費用負担）」は6.5%となっている（図表 38）。また、「販売」の際の平均単価は1,532 円/個、「支払い（費用負担）」は100 円/個となっている（図表 39）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「リユースショップの店頭で売却」が続き、そのうち「販売」が99.2%（1,484 円/個）となっている。「インターネットオークションで売却」では「販売」が98.9%（1,988 円/個）、「自治体にごみとして廃棄」では「無償」が72.1%、「支払い（費用負担）」が27.9%（32 円/個）となっている。

図表 38 排出・引渡時の費用について（玩具・模型）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 39 排出・引渡先別の割合・費用について（玩具・模型）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
			(1)販売			(2)支払い(費用負担)		(3)無償		
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	1,953	62.6%							1,953	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	3	0.1%	2	66.7%	23,089	—	—	—	1	33.3%
その他の小売店に引渡し・売却	5	0.2%	5	100.0%	400	—	—	—	—	—
リユースショップの店頭で売却	363	11.6%	360	99.2%	1,484	—	—	—	3	0.8%
リユースショップの出張買取サービス	1	0.0%	—	—	—	—	—	—	1	100.0%
宅配で郵送する買取サービス	22	0.7%	20	90.9%	50	—	—	—	2	9.1%
インターネットオークションで売却	360	11.5%	356	98.9%	1,988	—	—	—	4	1.1%
自治体にごみとして廃棄	251	8.0%	—	—	—	70	27.9%	32	181	72.1%
自治体にリユースの目的で引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
不用品回収業者に引渡し	7	0.2%	7	100.0%	321	—	—	—	—	—
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	1	0.0%	1	100.0%	1	—	—	—	—	—
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
引越し時に引越業者に引渡し	6	0.2%	—	—	—	1	16.7%	5,000	5	83.3%
バザー・フリーマーケット等で売却	90	2.9%	90	100.0%	56	—	—	—	—	—
友人・知人に譲渡・売却	51	1.6%	10	19.6%	500	—	—	—	41	80.4%
その他	8	0.3%	—	—	—	5	62.5%	70	3	37.5%
合計	3,121	100.0%	851	27.3%	1,532	76	2.4%	100	2,194	70.3%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) 玩具・模型の排出・流通実態の推計

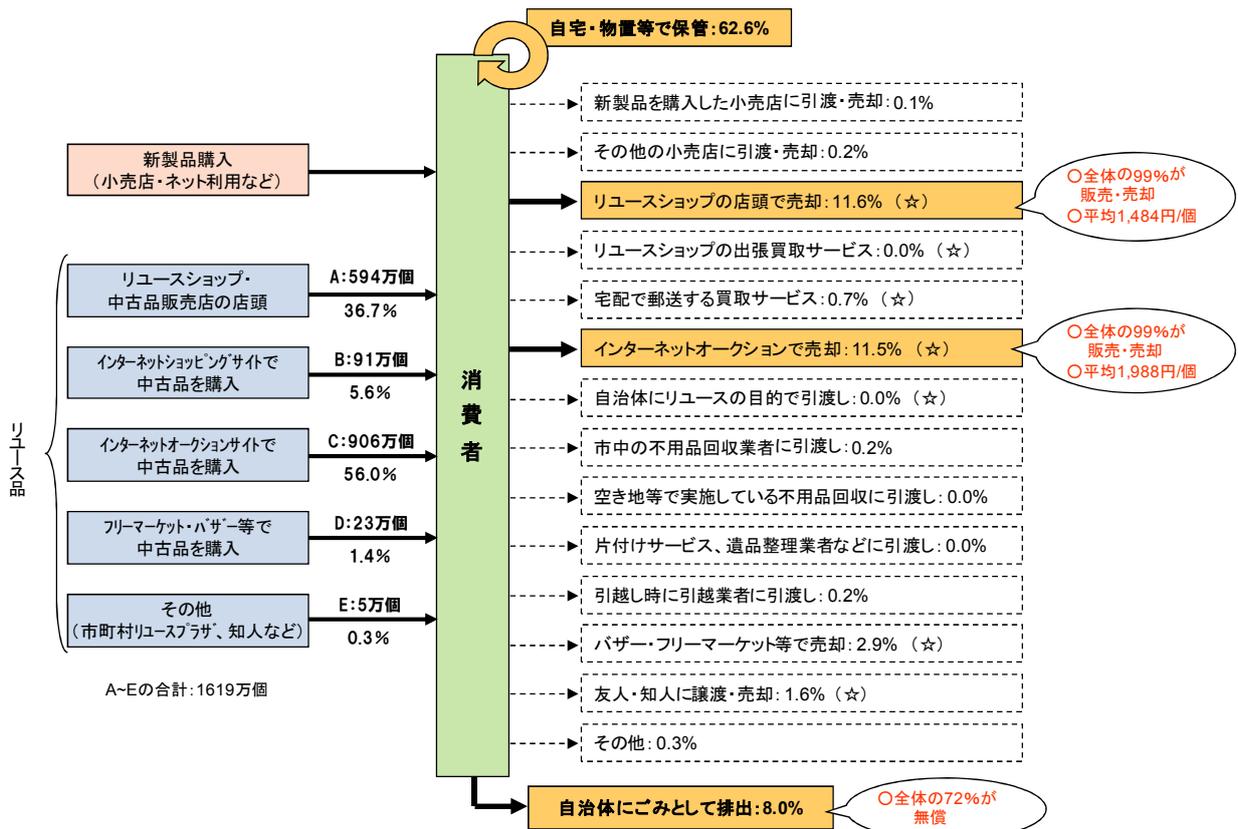
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手した玩具・模型は1619万個、そのうち「インターネットオークションサイト」で購入・入手したものが56.0%、906万個、「リユースショップ・中古品販売店の店頭」が36.7%、594万個と推計される。

また、過去1年間で不用となった玩具・模型の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く62.6%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が11.6%、「インターネットオークションで売却」が11.5%、「自治体にごみとして排出」が8.0%と続く。

排出・引渡の費用は、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が99%を占め、平均1,485円/個となっている。「インターネットオークションで売却」では販売・売却が99%、平均1,988円/個、「自治体にごみとして排出」では無償が72%となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの（図表中の☆の排出先の合計）は、全体の28.4%、「自宅・物置等で保管」を除き割合を求めると全体の76.5%を占めると推計される。

図表 40 玩具・模型の排出・流通実態の推計

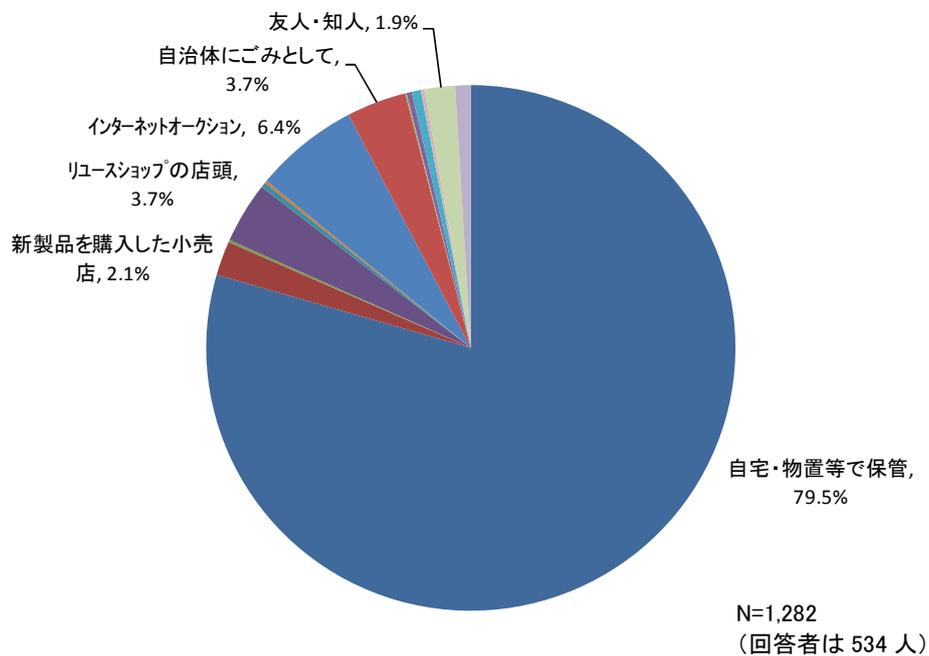


(11) カメラ・周辺機器

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったカメラ・周辺機器の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったカメラ・周辺機器の個数は1,282個（534人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く79.5%、次いで「インターネットオークションで売却」が6.4%、「リユースショップの店頭で売却」と「自治体にごみとして廃棄」がともに3.7%と続く。

図表 41 不用となったカメラ・周辺機器の排出先別の割合（個）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

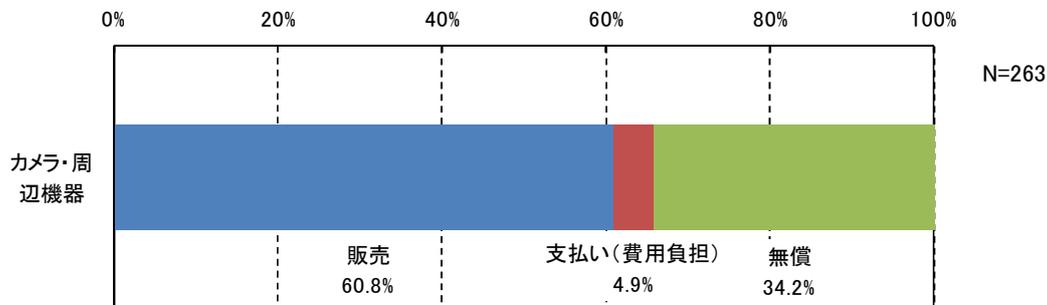
2) 不用品の排出における費用について

不用となったカメラ・周辺機器の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 60.8%、次いで「無償」が 34.2%、「支払い（費用負担）」は 4.9%となっている（図表 42）。また、「販売」の際の平均単価は 14,882 円/個、「支払い（費用負担）」は 418 円/個となっている（図表 43）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「インターネットオークションで売却」が続き、そのうち「販売」が 97.6%（19,576 円/個）、「無償」が 2.4%となっている。「リユースショップの店頭で売却」では「販売」が 89.6%（6,014 円/個）、「無償」が 10.4%、「自治体にごみとして廃棄」では「無償」が 78.7%、「支払い（費用負担）」が 21.3%（30 円/個）となっている。

図表 42 排出・引渡時の費用について（カメラ・周辺機器）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 43 排出・引渡先別の割合・費用について（カメラ・周辺機器）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
			(1)販売			(2)支払い(費用負担)		(3)無償		
			個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	1,019	79.5%							1,019	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	27	2.1%	22	81.5%	19,518	—	—	—	5	18.5%
その他の小売店に引渡し・売却	2	0.2%	2	100.0%	9,800	—	—	—	—	—
リユースショップの店頭で売却	48	3.7%	43	89.6%	6,014	—	—	—	5	10.4%
リユースショップの出張買取サービス	4	0.3%	4	100.0%	7,750	—	—	—	—	—
宅配で郵送する買取サービス	2	0.2%	2	100.0%	26,500	—	—	—	—	—
インターネットオークションで売却	82	6.4%	80	97.6%	19,576	—	—	—	2	2.4%
自治体にごみとして廃棄	47	3.7%	—	—	—	10	21.3%	30	37	78.7%
自治体にリユースの目的で引渡し	1	0.1%	1	100.0%	5,000	—	—	—	—	—
不用品回収業者に引渡し	4	0.3%	—	—	—	—	—	—	4	100.0%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	7	0.5%	—	—	—	—	—	—	7	100.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
引越し時に引越業者に引渡し	1	0.1%	—	—	—	1	100.0%	5,000	—	—
バザー・フリーマーケット等で売却	2	0.2%	2	100.0%	2,750	—	—	—	—	—
友人・知人に譲渡・売却	24	1.9%	4	16.7%	3,250	—	—	—	20	83.3%
その他	12	0.9%	—	—	—	2	16.7%	70	10	83.3%
合計	1,282	100.0%	160	12.5%	14,882	13	1.0%	418	1,109	86.5%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) カメラ・周辺機器の排出・流通実態の推計

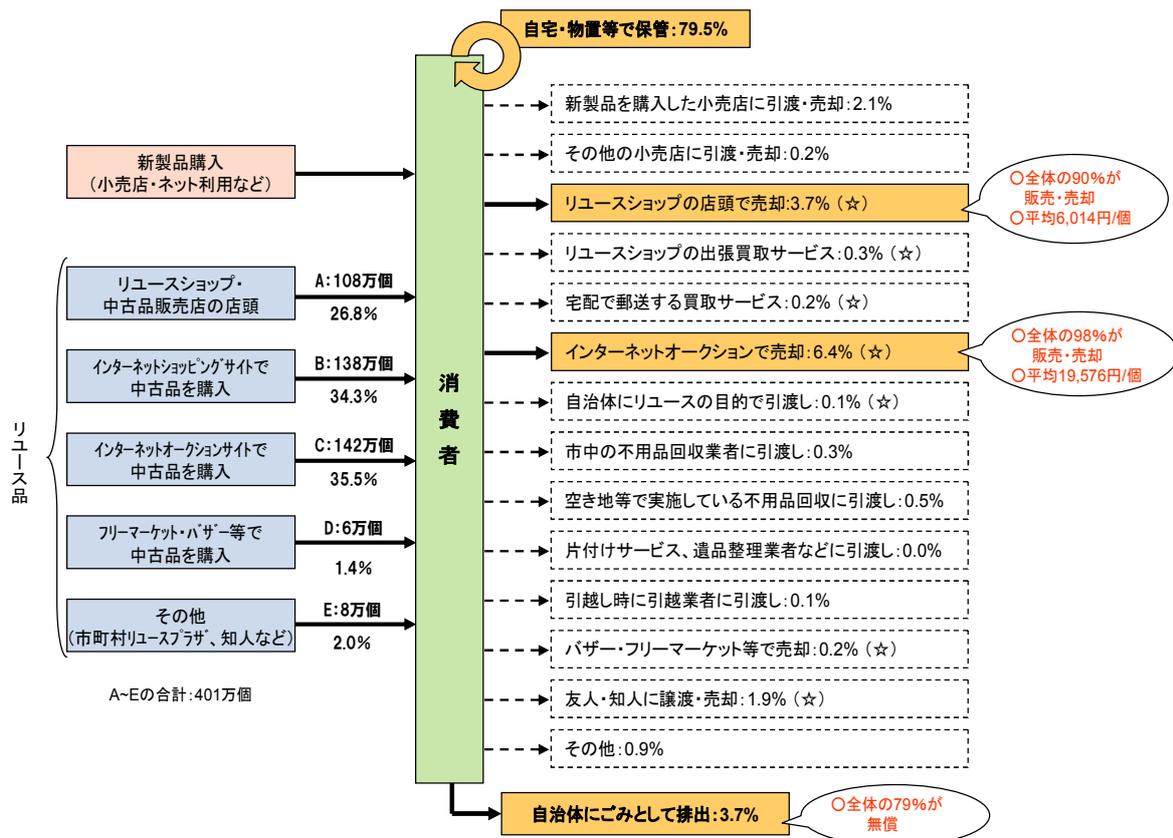
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したカメラ・周辺機器は401万個、そのうち「インターネットオークションサイト」で購入・入手したものが35.5%、142万個、「インターネットショッピングサイト」が34.3%、138万個、「リユースショップ・中古品販売店の店頭」が26.8%、108万個と推計される。

また、過去1年間で不用となったカメラ・周辺機器の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く79.5%、次いで「インターネットオークションで売却」が6.4%、「リユースショップの店頭で売却」と「自治体にごみとして排出」がそれぞれ3.7%と続く。

排出・引渡の費用は、「インターネットオークションで売却」では販売・売却が98%を占め、平均19,576円/個となっている。「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が90%、平均6,014円/個、「自治体にごみとして排出」では無償が79%となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの（図表中の☆の排出先の合計）は、全体の12.7%、「自宅・物置等で保管」を除き割合を求めると全体の64.9%を占めると推計される。

図表 44 カメラ・周辺機器の排出・流通実態の推計



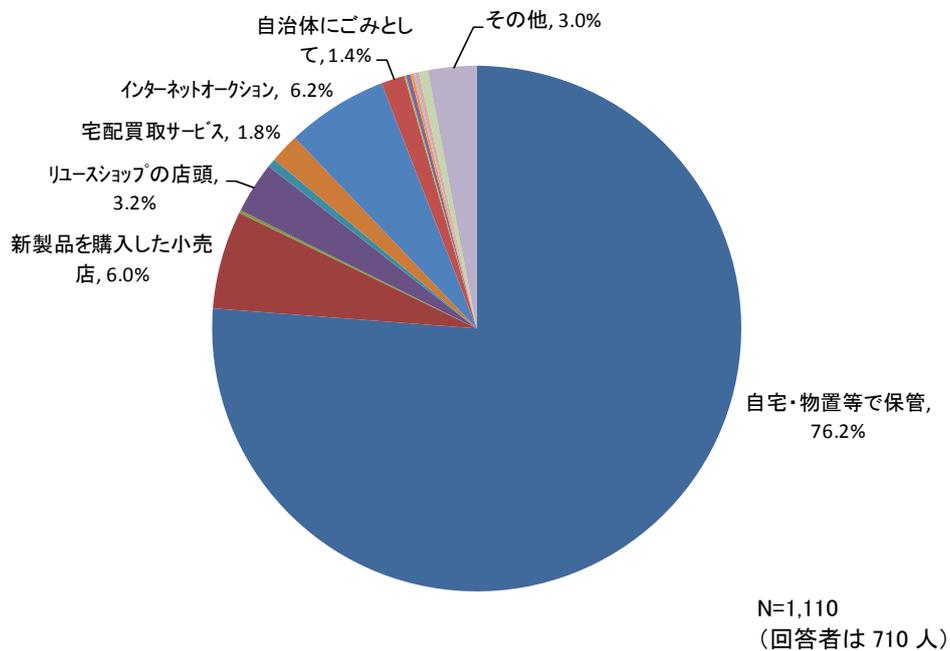
注) 図表中の7つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

(12) 携帯電話・スマートフォン

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となった携帯電話・スマートフォンの排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となった携帯電話・スマートフォンの個数は1,110個（710人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く76.2%、次いで「インターネットオークションで売却」6.2%、「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」が6.0%、「リユースショップの店頭で売却」が3.2%と続く。

図表 45 不用となった携帯電話・スマートフォンの排出先別の割合（個）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

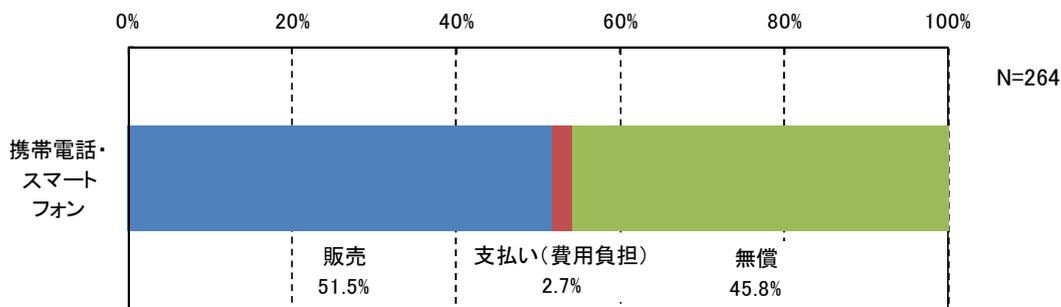
2) 不用品の排出における費用について

不用となった携帯電話・スマートフォンの排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く51.5%、次いで「無償」が45.8%、「支払い（費用負担）」は2.7%となっている（図表46）。また、「販売」の際の平均単価は7,974円/個、「支払い（費用負担）」は1,034円/個となっている（図表47）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「インターネットオークションで売却」が続き、そのうち「販売」が94.2%（8,972円/個）、「無償」が5.8%となっている。「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」では「無償」が77.6%、「販売」が22.4%（8,693円/個）、「リユースショップの店頭で売却」では「販売」が82.9%（5,176円/個）、「無償」が14.3%となっている。

図表 46 排出・引渡時の費用について（携帯電話・スマートフォン）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 47 排出・引渡先別の割合・費用について（携帯電話・スマートフォン）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
	個数	割合	(1)販売		(2)支払い(費用負担)		(3)無償			
			個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	846	76.2%							846	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	67	6.0%	15	22.4%	8,693	—	—	—	52	77.6%
その他の小売店に引渡し・売却	2	0.2%	1	50.0%	3,000	—	—	—	1	50.0%
リユースショップの店頭で売却	35	3.2%	29	82.9%	5,176	1	2.9%	500	5	14.3%
リユースショップの出張買取サービス	6	0.5%	5	83.3%	4,600	—	—	—	1	16.7%
宅配で郵送する買取サービス	20	1.8%	20	100.0%	9,490	—	—	—	—	—
インターネットオークションで売却	69	6.2%	65	94.2%	8,972	—	—	—	4	5.8%
自治体にごみとして廃棄	16	1.4%	—	—	—	3	18.8%	447	13	81.3%
自治体にリユースの目的で引渡し	1	0.1%	1	100.0%	5,000	—	—	—	—	—
不用品回収業者に引渡し	3	0.3%	—	—	—	—	—	—	3	100.0%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	2	0.2%	—	—	—	2	100.0%	200	—	—
引越し時に引越業者に引渡し	1	0.1%	—	—	—	1	100.0%	5,000	—	—
バザー・フリーマーケット等で売却	3	0.3%	—	—	—	—	—	—	3	100.0%
友人・知人に譲渡・売却	6	0.5%	—	—	—	—	—	—	6	100.0%
その他	33	3.0%	—	—	—	—	—	—	33	100.0%
合計	1,110	100.0%	136	12.3%	7,974	7	0.6%	1,034	967	87.1%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) 携帯電話・スマートフォンの排出・流通実態の推計

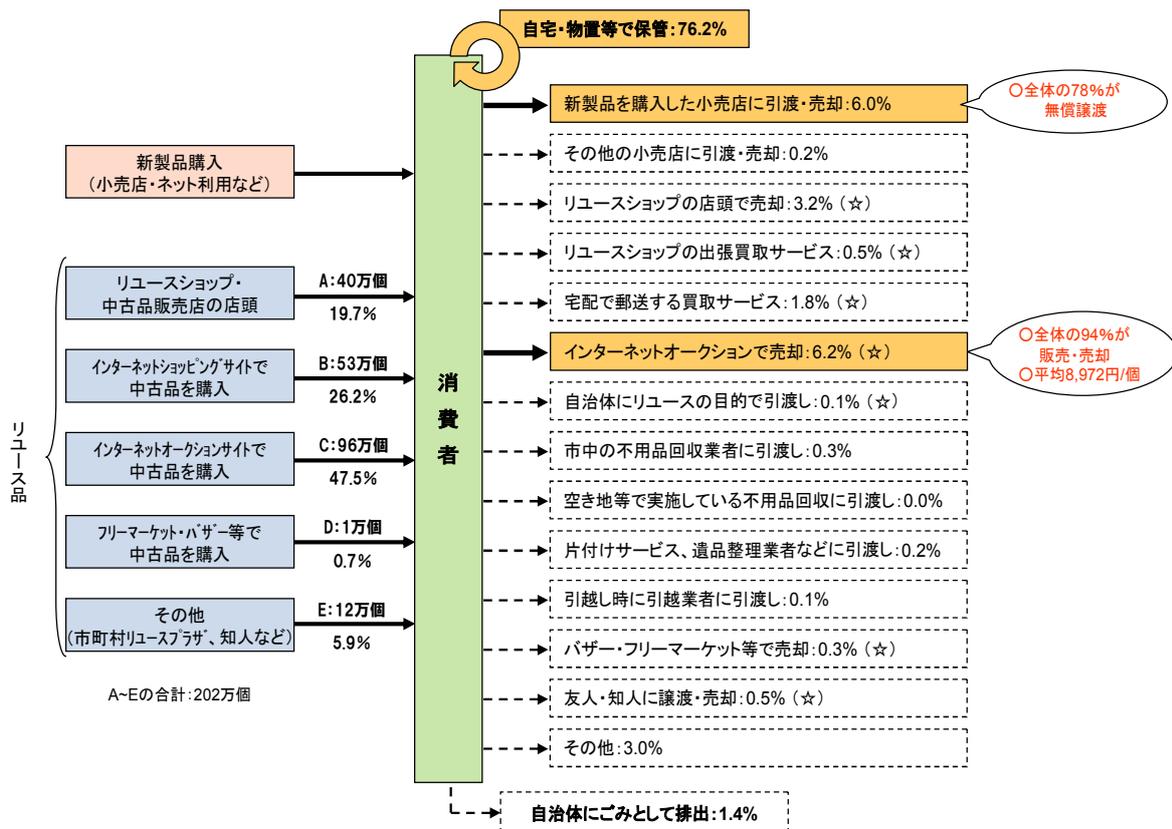
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手した携帯電話・スマートフォンは202万台、そのうち「インターネットオークションサイト」で購入・入手したものが47.5%、96万台、「インターネットショッピングサイト」が26.2%、53万台、「リユースショップ・中古品販売店の店頭」が19.7%、40万台と推計される。

また、過去1年間で不用となった携帯電話・スマートフォンの排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く76.2%、次いで「インターネットオークションで売却」が6.2%、「新しい製品を購入した小売店に引渡・売却」が6.0%と続く。

排出・引渡の費用は、「インターネットオークションで売却」では販売・売却が94%を占め、平均8,972円/台となっている。「新しい製品を購入した小売店に引渡・売却」では無償が78%、となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの（図表中の☆の排出先の合計）は、全体の12.6%、「自宅・物置等で保管」を除き割合を求めると全体の60.6%を占めると推計される。

図表 48 携帯電話・スマートフォンの排出・流通実態の推計



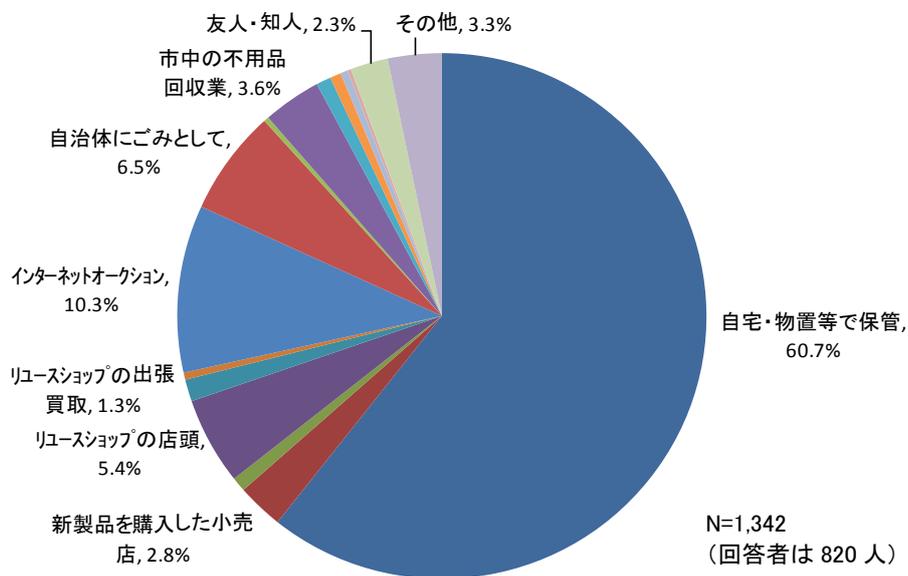
注) 図表中の7つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

(13) パソコン・周辺機器

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったパソコン・周辺機器の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったパソコン・周辺機器の個数は1,342個（820人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く60.7%、次いで「インターネットオークションで売却」が10.3%、「自治体にごみとして廃棄」が6.5%、「リユースショップの店頭で売却」が5.4%と続く。

図表 49 不用となったパソコン・周辺機器の排出先別の割合（個）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

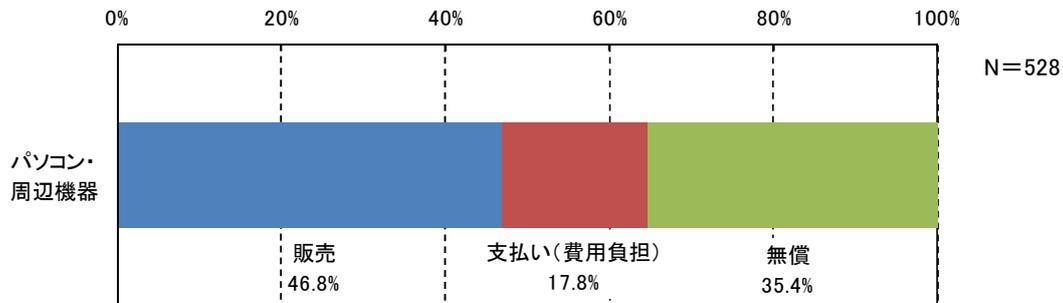
2) 不用品の排出における費用について

不用となったパソコン・周辺機器の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く46.8%、次いで「無償」が35.4%、「支払い（費用負担）」は17.8%となっている（図表50）。また、「販売」の際の平均単価は9,052円/個、「支払い（費用負担）」は4,276円/個となっている（図表51）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「インターネットオークションで売却」が続き、そのうち「販売」が96.4%（11,175円/個）、「無償」が2.9%となっている。「自治体にごみとして廃棄」では「支払い（費用負担）」が57.5%（1,852円/個）、「無償」が40.2%、「販売」が2.3%（2,500円/個）、「リユースショップの店頭で売却」では「販売」が87.5%（3,217円/個）、「無償」が9.7%、「支払い（費用負担）」が2.8%（1,750円/個）となっている。

図表50 排出・引渡時の費用について（パソコン・周辺機器）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表51 排出・引渡先別の割合・費用について（パソコン・周辺機器）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について（販売、処理、無償）							
			(1)販売			(2)支払い(費用負担)			(3)無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	814	60.7%							814	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	38	2.8%	17	44.7%	8,989	7	18.4%	3,429	14	36.8%
その他の小売店に引渡し・売却	12	0.9%	6	50.0%	22,567	1	8.3%	100	5	41.7%
リユースショップの店頭で売却	72	5.4%	63	87.5%	3,217	2	2.8%	1,750	7	9.7%
リユースショップの出張買取サービス	18	1.3%	14	77.8%	14,793	1	5.6%	500	3	16.7%
宅配で郵送する買取サービス	6	0.4%	5	83.3%	2,320	1	16.7%	200,000	—	—
インターネットオークションで売却	138	10.3%	133	96.4%	11,175	1	0.7%	1	4	2.9%
自治体にごみとして廃棄	87	6.5%	2	2.3%	2,500	50	57.5%	1,852	35	40.2%
自治体にリユースの目的で引渡し	4	0.3%	—	—	—	3	75.0%	3,400	1	25.0%
不用品回収業者に引渡し	48	3.6%	—	—	—	15	31.3%	2,067	33	68.8%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	12	0.9%	—	—	—	—	—	—	12	100.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	9	0.7%	1	11.1%	4,000	1	11.1%	500	7	77.8%
引渡し時に引越業者に引渡し	6	0.4%	—	—	—	2	33.3%	5,000	4	66.7%
バザー・フリーマーケット等で売却	3	0.2%	2	66.7%	3,000	—	—	—	1	33.3%
友人・知人に譲渡・売却	31	2.3%	4	12.9%	6,250	1	3.2%	3,000	26	83.9%
その他	44	3.3%	—	—	—	9	20.5%	2,944	35	79.5%
合計	1,342	100.0%	247	18.4%	9,052	94	7.0%	4,276	1,001	74.6%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) パソコン・周辺機器の排出・流通実態の推計

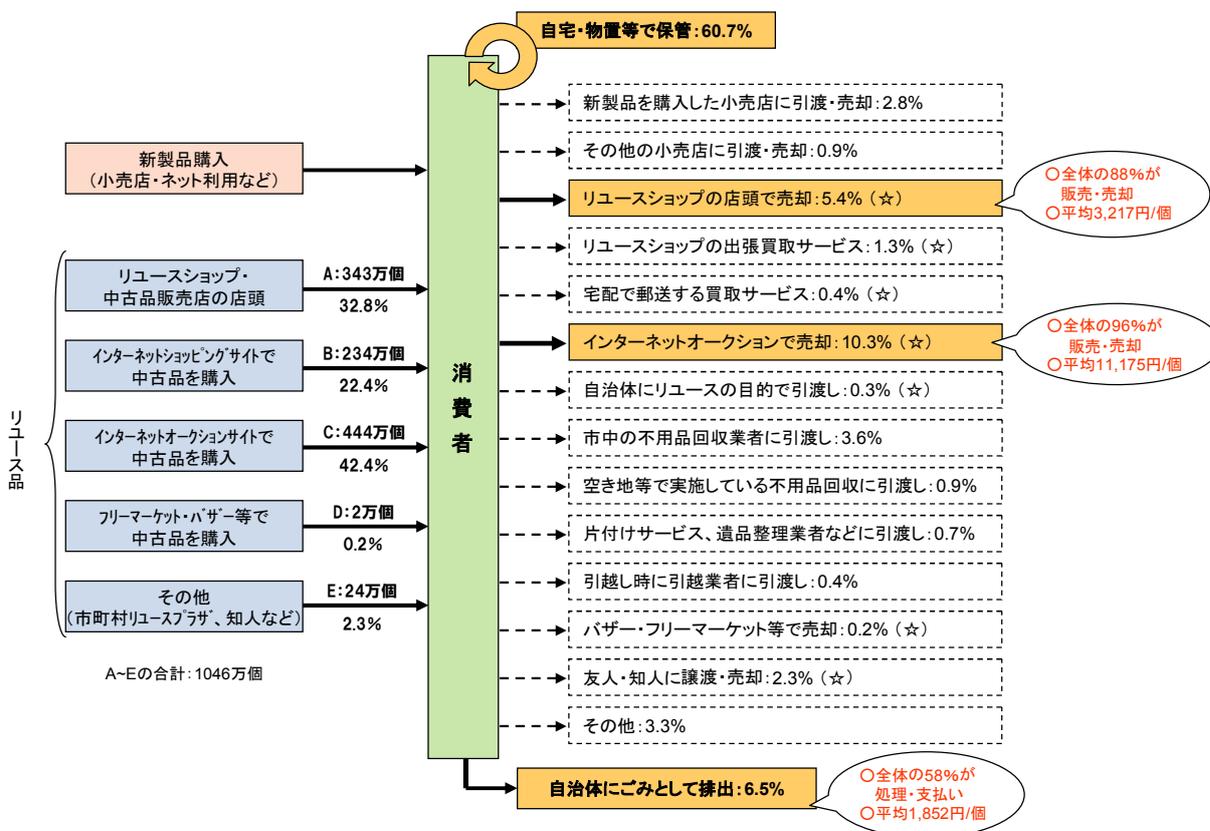
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したパソコン・周辺機器は1046万個、そのうち「インターネットオークションサイト」で購入・入手したものが42.4%、444万個、「リユースショップ・中古品販売店の店頭」が32.8%、343万個、「インターネットショッピングサイト」が22.4%、234万個と推計される。

また、過去1年間で不用となったパソコン・周辺機器の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く60.7%、次いで「インターネットオークションで売却」が10.3%、「自治体にごみとして排出」が6.5%、「リユースショップの店頭で売却」が5.4%と続く。

排出・引渡の費用は、「インターネットオークションで売却」では販売・売却が96%を占め、平均11,175円/個となっている。「自治体にごみとして排出する」では支払が58%、その費用は平均1,852円/個、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が88%、平均3,217円/個となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの（図表中の☆の排出先の合計）は、全体の20.3%、「自宅・物置等で保管」を除き割合を求めると全体の56.2%を占めると推計される。

図表 52 パソコン・周辺機器の排出・流通実態の推計

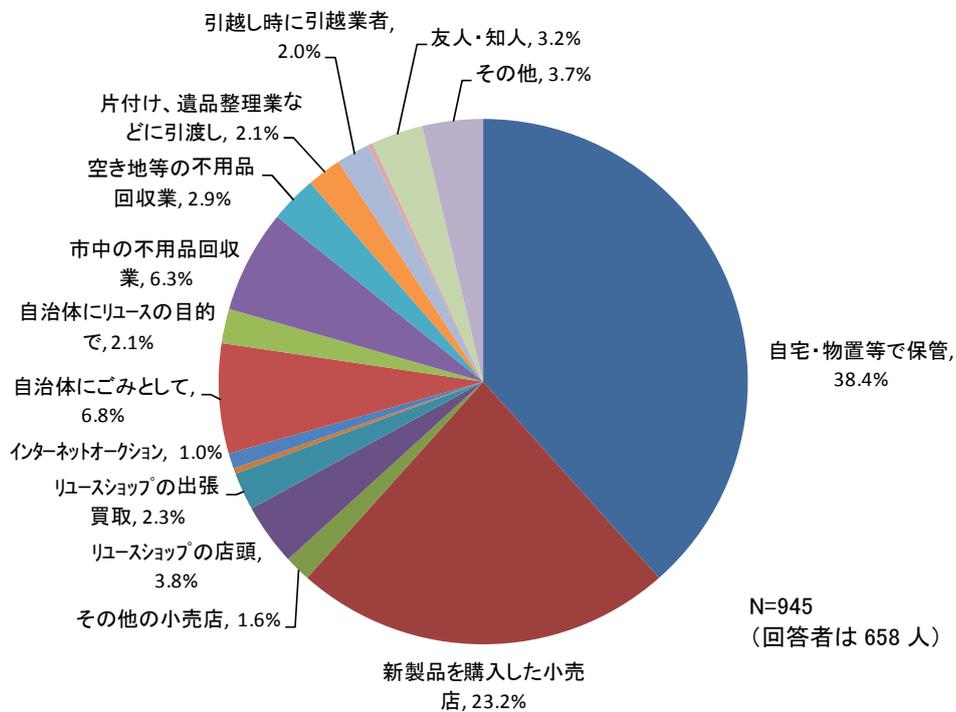


(14) 家電4品目（エアコン、テレビ、洗濯機・乾燥機、冷蔵庫）

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となった家電4品目の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となった家電4品目の個数は945個（658人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く38.4%、次いで「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」が23.2%、「自治体にごみとして廃棄」が6.8%、「市中の不用品回収業者に引き渡し」が6.3%と続く。

図表 53 不用となった家電4品目の排出先別の割合（個）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
 ※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

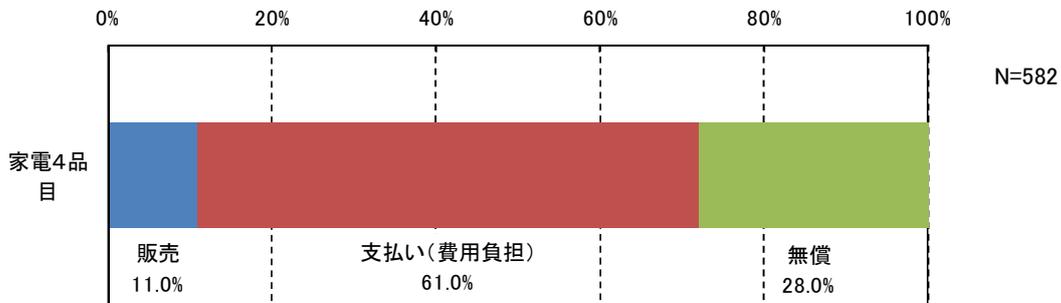
2) 不用品の排出における費用について

不用となった家電4品目の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「支払い(費用負担)」との回答が最も多く61.0%、次いで「無償」が28.0%、「販売」は11.0%となっている(図表54)。また、「支払い(費用負担)」の際の平均単価は4,125円/個、「販売」は6,875円/個となっている(図表55)。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」が続き、そのうち「支払い(費用負担)」が80.4%(3,639円/台)、「無償」が16.4%、「販売」が3.2%(1,238円/台)となっている。「自治体にごみとして廃棄」では「支払い(費用負担)」が90.6%(4,011円/台)、「無償」が9.4%、「不用品回収業者に引渡し」では「支払い(費用負担)」が56.7%(3,510円/台)、「無償」が38.3%、「販売」が5.0%(17,833円/台)となっている。

図表 54 排出・引渡時の費用について(家電4品目)



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 55 排出・引渡先別の割合・費用について(家電4品目)

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
			(1)販売			(2)支払い(費用負担)			(3)無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/台)	個数	割合	単価(円/台)	個数	割合
自宅・物置等で保管	363	38.4%							363	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	219	23.2%	7	3.2%	1,238	176	80.4%	3,639	36	16.4%
その他の小売店に引渡し・売却	15	1.6%	3	20.0%	4,167	8	53.3%	3,925	4	26.7%
リユースショップの店頭で売却	36	3.8%	25	69.4%	4,292	5	13.9%	2,800	6	16.7%
リユースショップの出張買取サービス	22	2.3%	13	59.1%	12,308	5	22.7%	4,600	4	18.2%
宅配で郵送する買取サービス	3	0.3%	1	33.3%	40,000	—	—	—	2	66.7%
インターネットオークションで売却	9	1.0%	7	77.8%	6,143	—	—	—	2	22.2%
自治体にごみとして廃棄	64	6.8%	—	—	—	58	90.6%	4,011	6	9.4%
自治体にリユースの目的で引渡し	20	2.1%	—	—	—	11	55.0%	4,773	9	45.0%
不用品回収業者に引渡し	60	6.3%	3	5.0%	17,833	34	56.7%	3,510	23	38.3%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	27	2.9%	2	7.4%	1,501	15	55.6%	5,067	10	37.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	20	2.1%	—	—	—	10	50.0%	3,185	10	50.0%
引越し時に引越業者に引渡し	19	2.0%	—	—	—	16	84.2%	11,000	3	15.8%
バザー・フリーマーケット等で売却	3	0.3%	2	66.7%	1,000	—	—	—	1	33.3%
友人・知人に譲渡・売却	30	3.2%	1	3.3%	10,000	—	—	—	29	96.7%
その他	35	3.7%	—	—	—	17	48.6%	3,963	18	51.4%
合計	945	100.0%	64	6.8%	6,875	355	37.6%	4,125	526	55.7%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) 家電4品目の排出・流通実態の推計

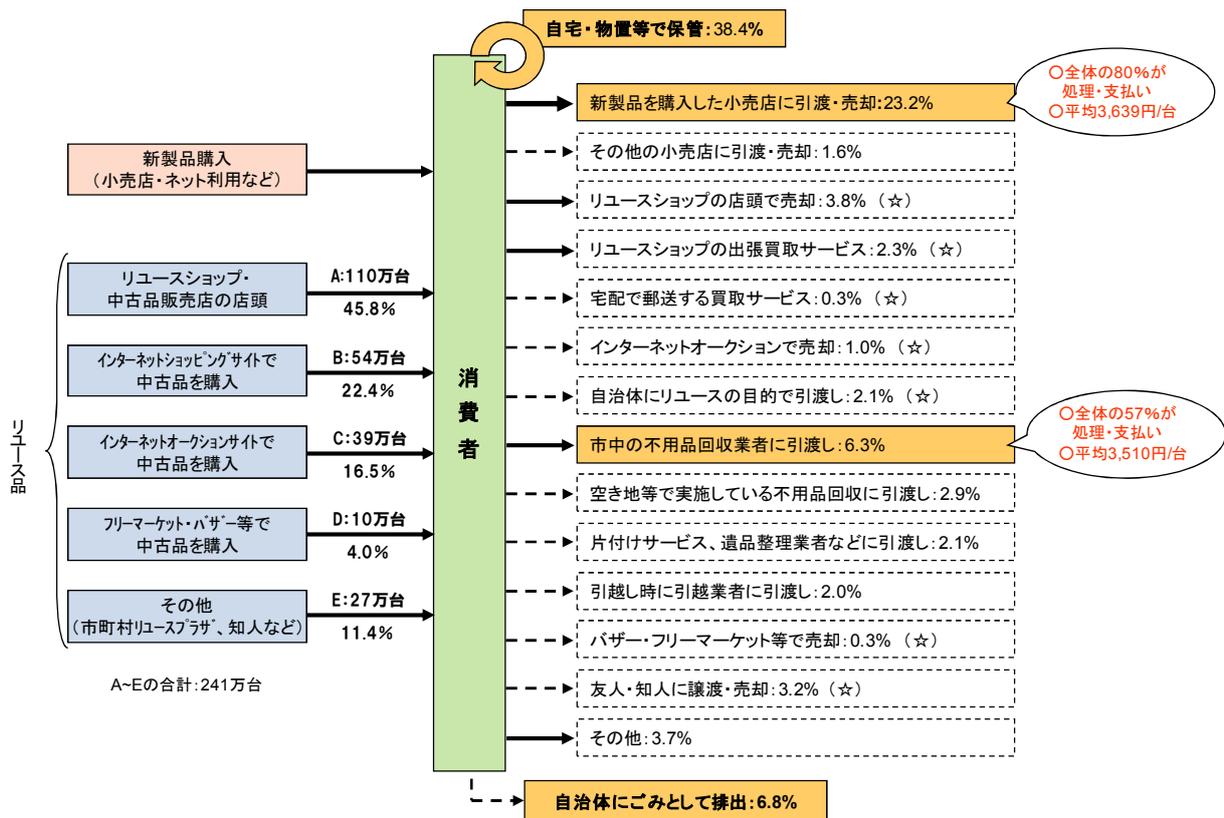
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手した家電4品目は241万台、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが45.8%、110万台、「インターネットショッピングサイト」が22.4%、54万台、「インターネットオークションサイト」が16.5%、39万台と推計される。

また、過去1年間で不用となった家電4品目の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く38.4%、次いで「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」が23.2%、「自治体にごみとして廃棄」が6.8%、「市中の不用品回収業者に引き渡し」が6.3%と続く。

排出・引渡の費用は、「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」では支払が80%を占め、その費用は平均3,639円/台となっている。「市中の不用品回収業者に引き渡し」では支払が57%、平均3,510円/台となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの（図表中の☆の排出先の合計）は、全体の13.0%、「自宅・物置等で保管」を除き割合を求めると全体の22.5%を占めると推計される。

図表 56 家電4品目の排出・流通実態の推計



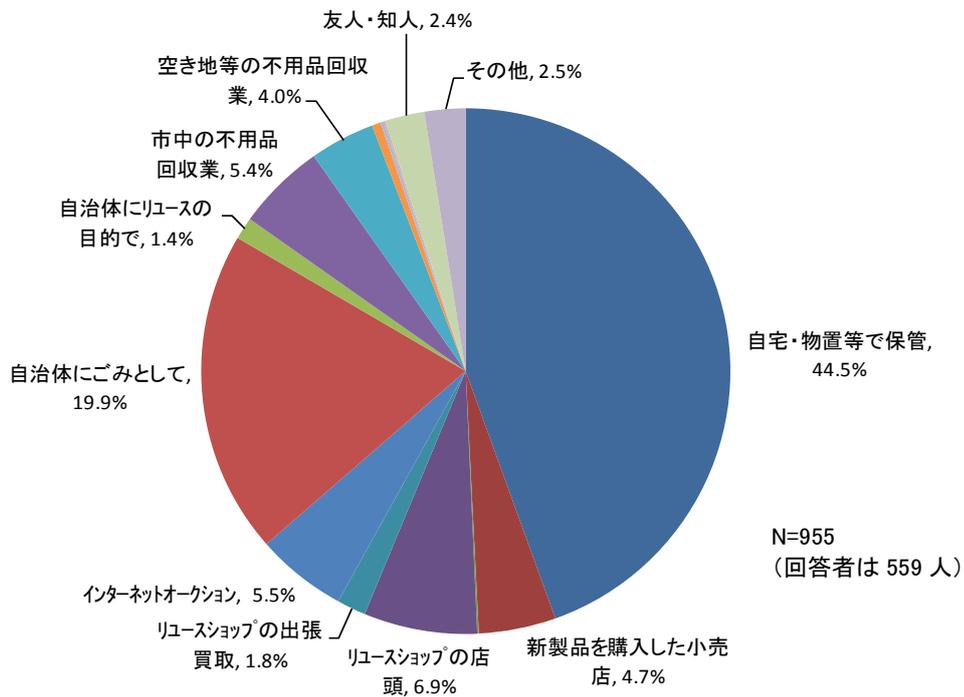
注) 図表中の7つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

(15) その他の家電製品

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったその他の家電製品の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったその他の家電製品の個数は 955 個（559 人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く 44.5%、次いで「自治体にごみとして廃棄」が 19.9%、「リユースショップの店頭で売却」が 6.9%と続く。

図表 57 不用となったその他の家電製品の排出先別の割合（個）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
 ※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

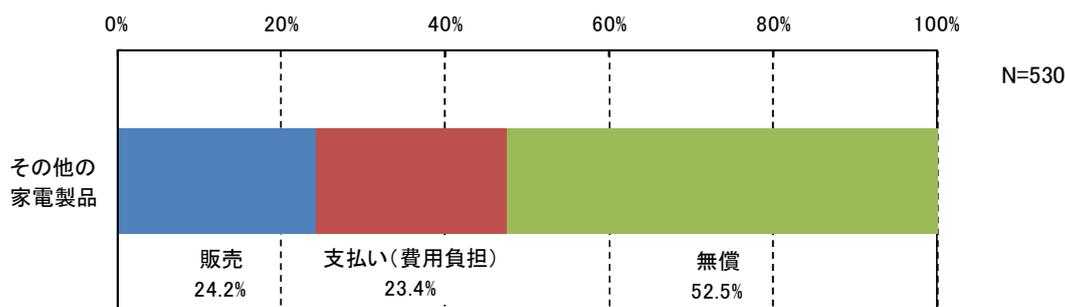
2) 不用品の排出における費用について

不用となったその他の家電製品の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「無償」との回答が最も多く 52.5%、次いで「販売」が 24.2%、「支払い（費用負担）」は 23.4%となっている（図表 58）。また、「販売」の際の平均単価は 8,448 円/個、「支払い（費用負担）」は 1,057 円/個となっている（図表 59）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「自治体にごみとして廃棄」が続き、そのうち「無償」が 59.5%、「支払い（費用負担）」が 40.0%（881 円/台）、となっている。「リユースショップの店頭で売却」では「販売」が 77.3%（3,676 円/台）、「無償」が 22.7%、「インターネットオークションで売却」では「販売」が 88.7%（18,115 円/台）、「無償」が 7.5%、「支払い（費用負担）」が 3.8%（5,000 円/台）、「不用品回収業者に引渡し」では「無償」が 80.8%、「販売」が 9.6%（100 円/台）、「支払い（費用負担）」が 9.6%（1,530 円/台）となっている。

図表 58 排出・引渡時の費用について（その他の家電製品）



図表 59 排出・引渡先別の割合・費用について（その他の家電製品）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
	個数	割合	(1)販売			(2)支払い(費用負担)		(3)無償		
			個数	割合	単価(円/台)	個数	割合	単価(円/台)	個数	割合
自宅・物置等で保管	425	44.5%							425	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	45	4.7%	5	11.1%	487	21	46.7%	1,224	19	42.2%
その他の小売店に引渡し・売却	1	0.1%	—	—	—	1	100.0%	1,000	0	0.0%
リユースショップの店頭で売却	66	6.9%	51	77.3%	3,676	—	—	—	15	22.7%
リユースショップの出張買取サービス	17	1.8%	14	82.4%	2,216	2	11.8%	500	1	5.9%
宅配で郵送する買取サービス	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
インターネットオークションで売却	53	5.5%	47	88.7%	18,115	2	3.8%	5,000	4	7.5%
自治体にごみとして廃棄	190	19.9%	1	0.5%	1,000	76	40.0%	881	113	59.5%
自治体にリユースの目的で引渡し	13	1.4%	—	—	—	4	30.8%	325	9	69.2%
不用品回収業者に引渡し	52	5.4%	5	9.6%	100	5	9.6%	1,530	42	80.8%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	38	4.0%	1	2.6%	1,000	5	13.2%	1,500	32	84.2%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	5	0.5%	—	—	—	2	40.0%	1,000	3	60.0%
引越し時に引越業者に引渡し	2	0.2%	—	—	—	1	50.0%	5,000	1	50.0%
バザー・フリーマーケット等で売却	1	0.1%	—	—	—	—	—	—	1	100.0%
友人・知人に譲渡・売却	23	2.4%	3	13.0%	1,833	—	—	—	20	87.0%
その他	24	2.5%	1	4.2%	1,000	5	20.8%	580	18	75.0%
合計	955	100.0%	128	13.4%	8,448	124	13.0%	1,057	703	73.6%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) その他の家電製品の排出・流通実態の推計

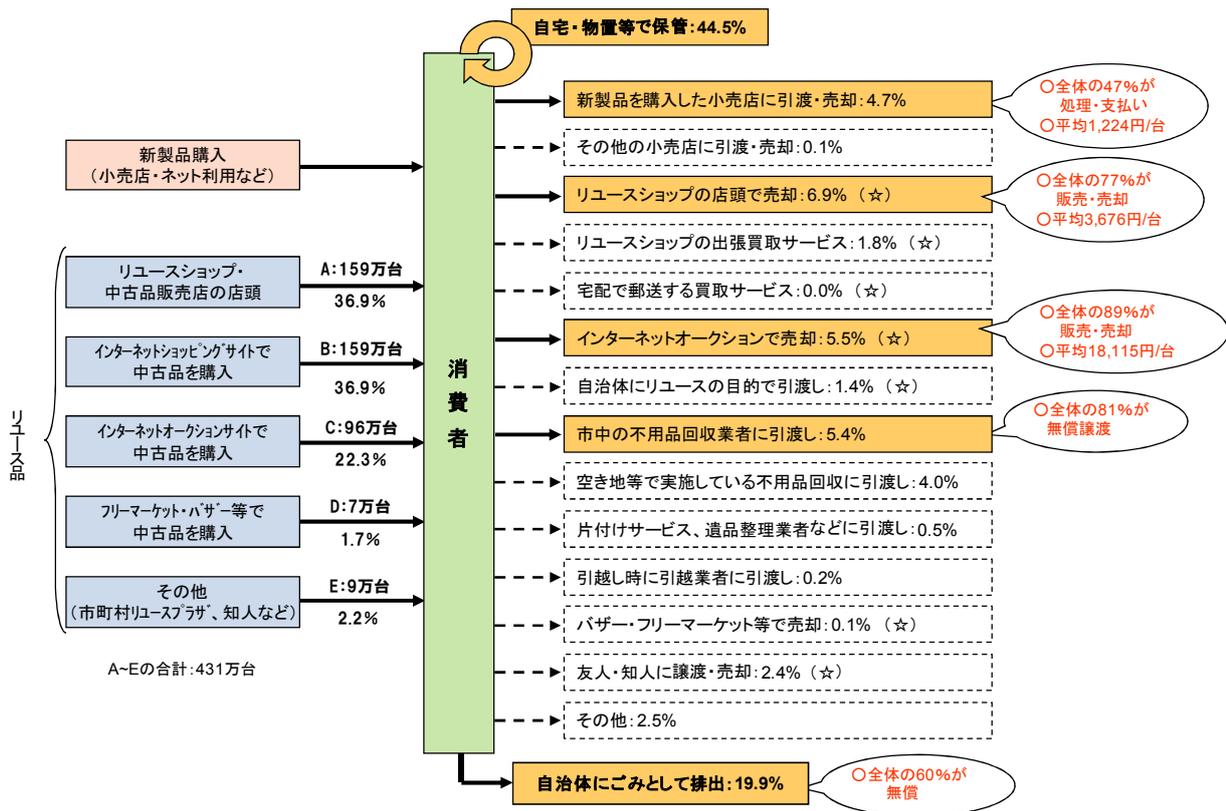
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したその他の家電製品は431万台、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」と「インターネットショッピングサイト」で購入・入手したものがそれぞれ36.9%、159万台、「インターネットオークションサイト」が22.3%、96万台と推計される。

また、過去1年間で不用となったその他の家電製品の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く44.5%、次いで「自治体にごみとして廃棄」が19.9%、「リユースショップの店頭で売却」が6.9%と続く。

排出・引渡の費用は、「自治体にごみとして排出」では無償が60%、「リユースショップの店頭」では販売・売却が77%を占め、平均3,675円/台となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの（図表中の☆の排出先の合計）は、全体の18.1%、「自宅・物置等で保管」を除き割合を求めると全体の34.2%を占めると推計される。

図表 60 その他の家電製品の排出・流通実態の推計



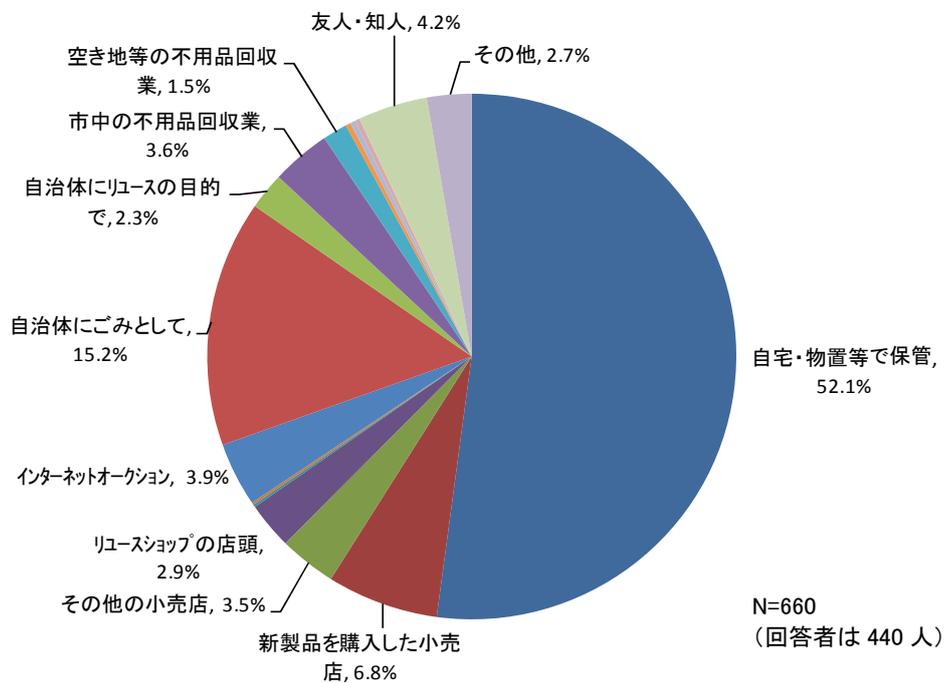
注) 図表中の7つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

(16) 自転車、自転車部品・パーツ

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となった自転車、自転車部品・パーツの排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となった自転車、自転車部品・パーツの個数は660個(440人からの回答)、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く52.1%、次いで「自治体にごみとして廃棄」が15.2%、「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」が6.8%と続く。

図表 61 不用となった自転車、自転車部品・パーツの排出先別の割合(個)



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

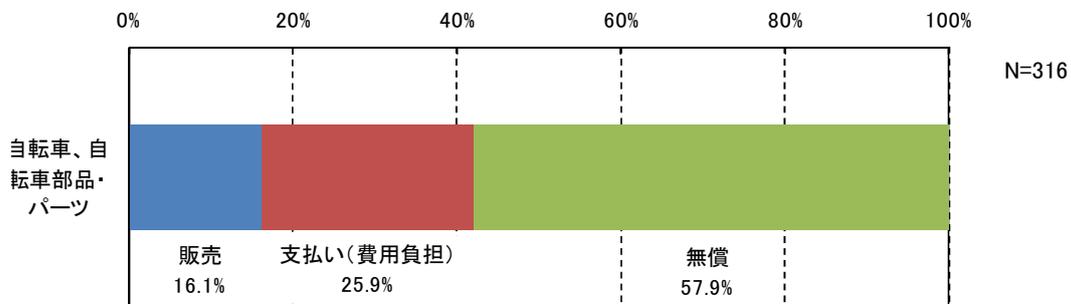
2) 不用品の排出における費用について

不用となった自転車、自転車部品・パーツの排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「無償」との回答が最も多く 57.9%、次いで「支払い（費用負担）」が 25.9%、「販売」は 16.1%となっている（図表 62）。また、「支払い（費用負担）」の際の平均単価は 770 円/個、「販売」は 28,920 円/個となっている（図表 63）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「自治体にごみとして廃棄」が続き、そのうち「無償」が 59.0%、「支払い（費用負担）」が 40.0%（656 円/個）、となっている。「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」では「無償」が 60.0%、「支払い（費用負担）」が 24.4%（464 円/個）、「販売」が 15.6%（81,665 円/個）、「友人・知人に譲渡・売却」では「無償」が 92.9%となっている。

図表 62 排出・引渡時の費用について（自転車、自転車部品・パーツ）



図表 63 排出・引渡先別の割合・費用について（自転車、自転車部品・パーツ）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
			(1)販売			(2)支払い(費用負担)		(3)無償		
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	344	52.1%							344	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	45	6.8%	7	15.6%	81,665	11	24.4%	464	27	60.0%
その他の小売店に引渡し・売却	23	3.5%	—	—	—	5	21.7%	1,000	18	78.3%
リユースショップの店頭で売却	19	2.9%	16	84.2%	3,206	2	10.5%	500	1	5.3%
リユースショップの出張買取サービス	1	0.2%	1	100.0%	100	—	—	—	—	—
宅配で郵送する買取サービス	1	0.2%	1	100.0%	150	—	—	—	—	—
インターネットオークションで売却	26	3.9%	18	69.2%	43,233	—	—	—	8	30.8%
自治体にごみとして廃棄	100	15.2%	1	1.0%	500	40	40.0%	656	59	59.0%
自治体にリユースの目的で引渡し	15	2.3%	—	—	—	9	60.0%	356	6	40.0%
不用品回収業者に引渡し	24	3.6%	—	—	—	4	16.7%	1,075	20	83.3%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	10	1.5%	1	10.0%	2,000	—	—	—	9	90.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	2	0.3%	—	—	—	2	100.0%	2,750	—	—
引越し時に引越業者に引渡し	2	0.3%	—	—	—	1	50.0%	5,000	1	50.0%
バザー・フリーマーケット等で売却	2	0.3%	—	—	—	—	—	—	2	100.0%
友人・知人に譲渡・売却	28	4.2%	1	3.6%	70,000	1	3.6%	100	26	92.9%
その他	18	2.7%	5	27.8%	200	7	38.9%	1,100	6	33.3%
合計	660	100.0%	51	7.7%	28,920	82	12.4%	770	527	79.8%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) 自転車、自転車部品・パーツの排出・流通実態の推計

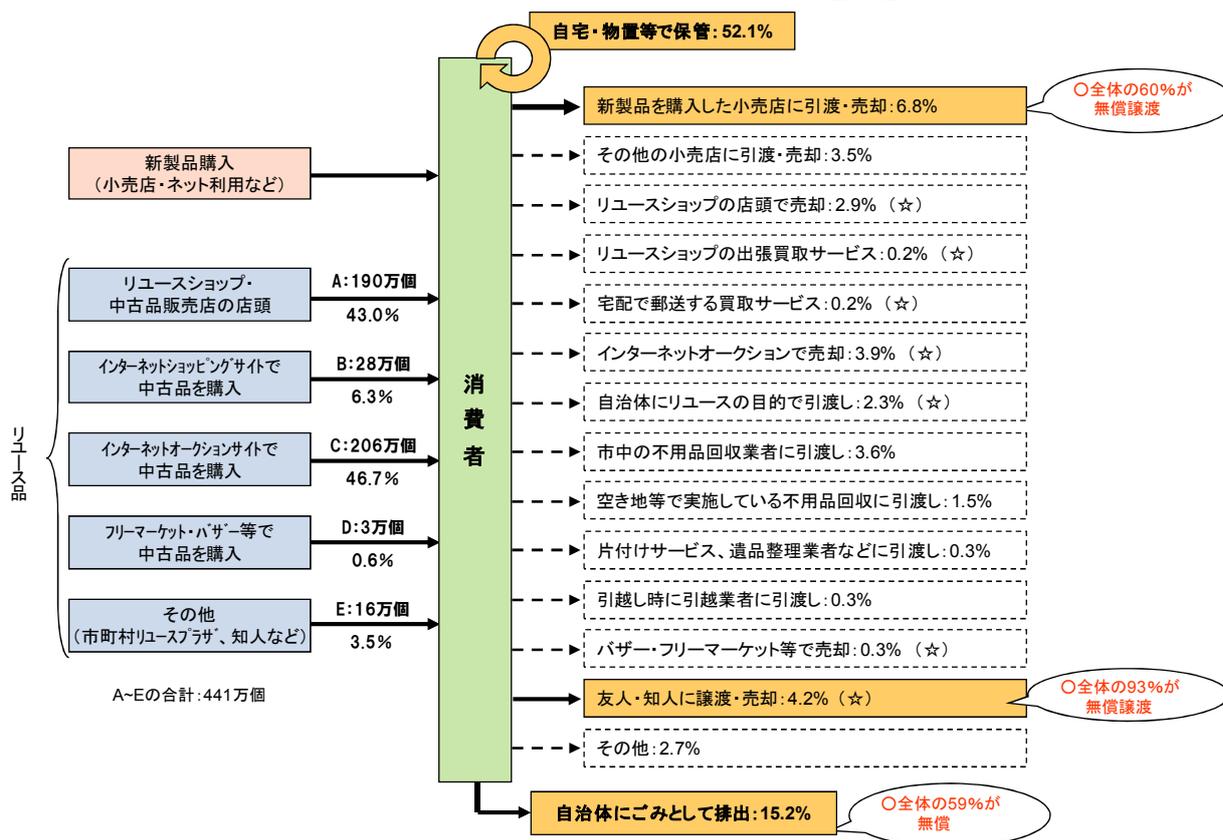
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手した自転車、自転車部品・パーツは441万個、そのうち「インターネットオークションサイト」で購入・入手したものが46.7%、206万個、「リユースショップ・中古品販売店の店頭」が43.0%、190万個、「インターネットショッピングサイト」が6.3%、28万個と推計される。

また、過去1年間で不用となった自転車、自転車部品・パーツの排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く52.1%、次いで「自治体にごみとして廃棄」が15.2%、「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」が6.8%と続く。

排出・引渡の費用は、「自治体にごみとして排出」では無償が59%を占めている。「新製品を購入した小売店に引渡し・売却」では全体の60%が無償となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの（図表中の☆の排出先の合計）は、全体の13.9%、「自宅・物置等で保管」を除き割合を求めると全体の30.9%を占めると推計される。

図表 64 自転車、自転車部品・パーツの排出・流通実態の推計



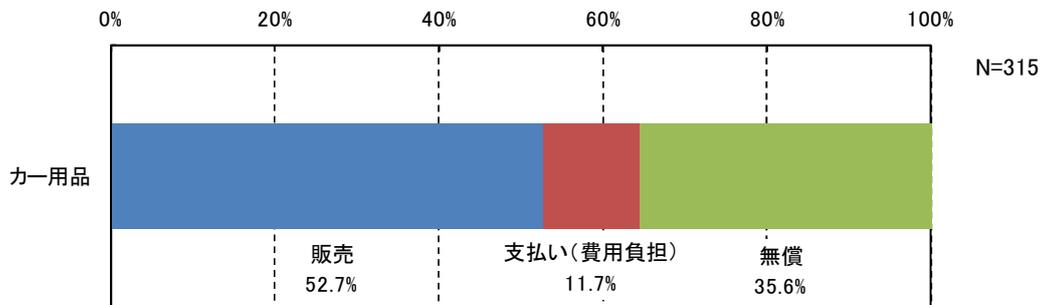
2) 不用品の排出における費用について

不用となったカー用品の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 52.7%、次いで「無償」が 35.6%、「支払い（費用負担）」は 11.7%となっている（図表 66）。また、「販売」の際の平均単価は 15,717 円/個、「支払い（費用負担）」は 2,197 円/個となっている（図表 67）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「インターネットオークションで売却」が続き、100%が「販売」（22,090 円/個）となっている。「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」では「無償」が 50.0%、「販売」が 25.0%（3,779 円/個）、「支払い（費用負担）」が 25.0%（563 円/個）、「自治体にごみとして廃棄」では「無償」が 65.9%、「支払い（費用負担）」が 29.5%（337 円/個）、「販売」が 4.5%（2,000 円/個）となっている。

図表 66 排出・引渡時の費用について（カー用品）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 67 排出・引渡先別の割合・費用について（カー用品）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
			(1)販売			(2)支払い(費用負担)			(3)無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	188	37.4%							188	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	44	8.7%	11	25.0%	3,779	11	25.0%	563	22	50.0%
その他の小売店に引渡し・売却	10	2.0%	1	10.0%	10,000	7	70.0%	8,857	2	20.0%
リユースショップの店頭で売却	35	7.0%	30	85.7%	3,793	1	2.9%	1,000	4	11.4%
リユースショップの出張買取サービス	14	2.8%	13	92.9%	1,846	—	—	—	1	7.1%
宅配で郵送する買取サービス	2	0.4%	2	100.0%	3,000	—	—	—	—	—
インターネットオークションで売却	95	18.9%	95	100.0%	22,090	—	—	—	—	—
自治体にごみとして廃棄	44	8.7%	2	4.5%	2,000	13	29.5%	337	29	65.9%
自治体にリユースの目的で引渡し	3	0.6%	—	—	—	—	—	—	3	100.0%
不用品回収業者に引渡し	12	2.4%	—	—	—	1	8.3%	1,200	11	91.7%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	5	1.0%	4	80.0%	800	—	—	—	1	20.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
引越し時に引越業者に引渡し	2	0.4%	—	—	—	1	50.0%	5,000	1	50.0%
バザー・フリーマーケット等で売却	5	1.0%	3	60.0%	1,800	—	—	—	2	40.0%
友人・知人に譲渡・売却	33	6.6%	4	12.1%	75,250	1	3.0%	500	28	84.8%
その他	11	2.2%	1	9.1%	1,500	2	18.2%	500	8	72.7%
合計	503	100.0%	166	33.0%	15,717	37	7.4%	2,197	300	59.6%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) カー用品の排出・流通実態の推計

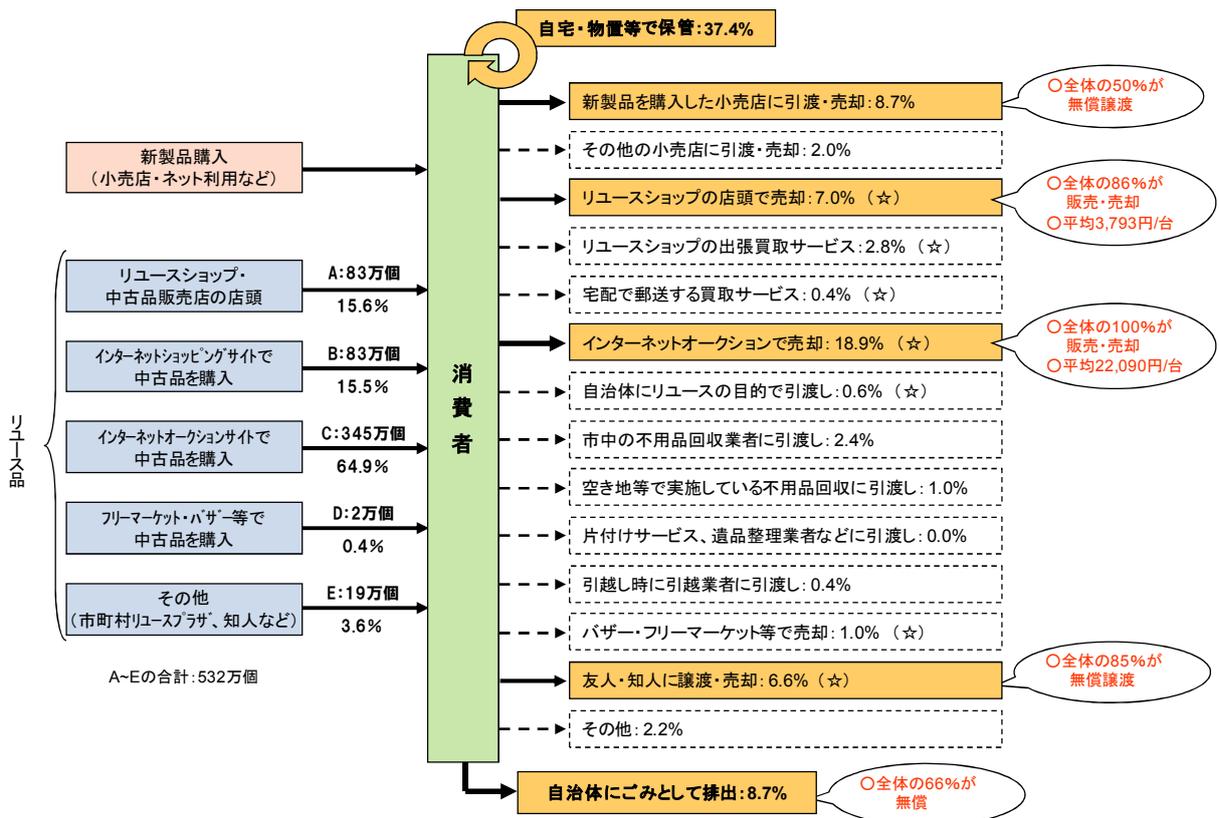
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したカー用品は532万個、そのうち「インターネットオークションサイト」で購入・入手したものが64.9%、345万個、「リユースショップ・中古品販売店の店頭」が15.6%、83万個、「インターネットショッピングサイト」が15.5%、83万個と推計される。

また、過去1年間で不用となったカー用品の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く37.4%、次いで「インターネットオークションで売却」が18.9%、「自治体にごみとして廃棄」が8.7%、「リユースショップの店頭で売却」が7.0%と続く。

排出・引渡の費用は、「インターネットオークションで売却」は100%が販売・売却であり、平均22,090円/台、「自治体にごみとして排出」では無償が66%を占めている。「新製品を購入した小売店に引渡・売却」では無償が50%、となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの（図表中の☆の排出先の合計）は、全体の37.2%、「自宅・物置等で保管」を除き割合を求めると全体の61.5%を占めると推計される。

図表 68 カー用品の排出・流通実態の推計



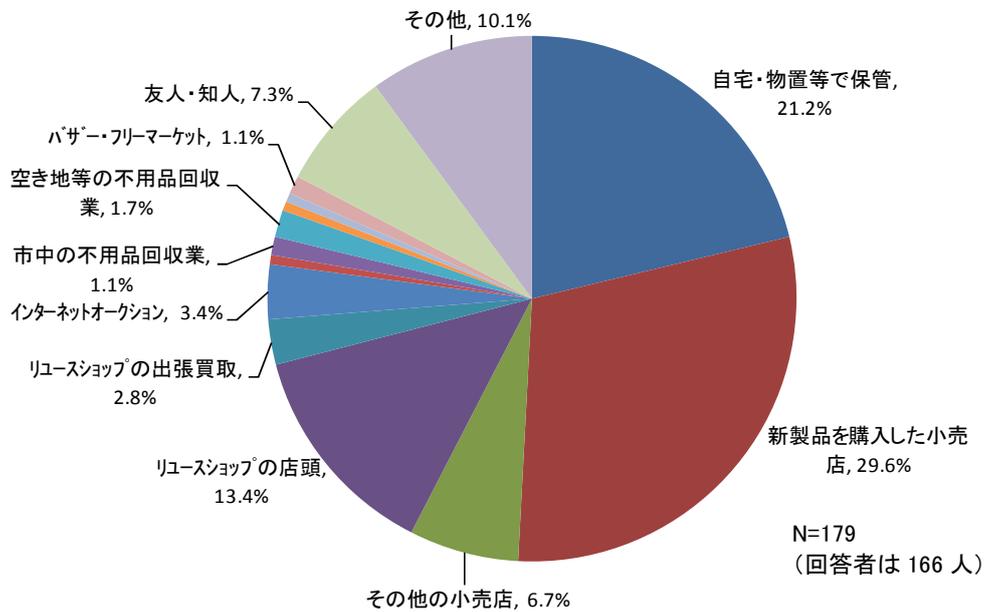
注) 図表中の7つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

(18) 自動車

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となった自動車の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となった自動車の台数は179台(166人からの回答)、排出・引渡先は「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」が最も多く29.6%、次いで「自宅・物置等で保管」が21.2%、「リユースショップの店頭で売却」が13.4%と続く。

図表 69 不用となった自動車の排出先別の割合(台)



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。

※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

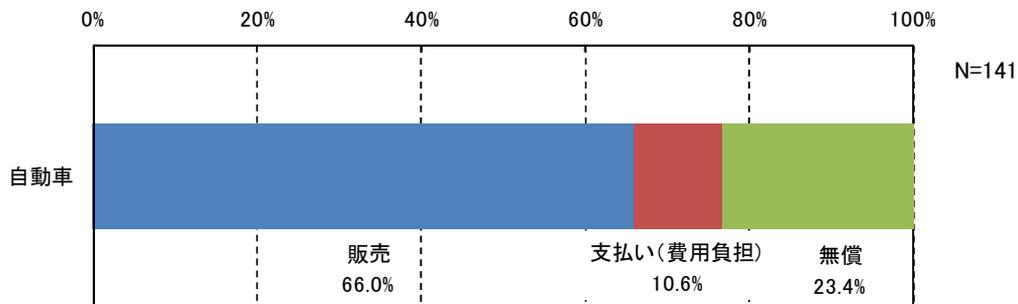
2) 不用品の排出における費用について

不用となった自動車の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 66.0%、次いで「無償」が 23.4%、「支払い（費用負担）」は 10.6%となっている（図表 70）。また、「販売」の際の平均単価は 353,516 円/個、「支払い（費用負担）」は 18,067 円/個となっている（図表 71）。

排出・引渡先別に見ると、「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」が最も多く、そのうち「販売」が 71.7%（224,728 円/台）、「無償」が 20.8%、「支払い（費用負担）」が 7.5%（16,250 円/台）となっている。次いで「自宅・物置等で保管」が続き、「リユースショップの店頭で売却」では「販売」が 79.2%（247,911 円/台）、「無償」が 16.7%、「友人・知人に譲渡・売却」では「販売」が 69.2%（606,667 円/台）、「無償」が 30.8%となっている。

図表 70 排出・引渡時の費用について（自動車）



図表 71 排出・引渡先別の割合・費用について（自動車）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
	個数	割合	(1)販売			(2)支払い(費用負担)			(3)無償	
			個数	割合	単価(円/台)	個数	割合	単価(円/台)	個数	割合
自宅・物置等で保管	38	21.2%							38	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	53	29.6%	38	71.7%	224,728	4	7.5%	16,250	11	20.8%
その他の小売店に引渡し・売却	12	6.7%	9	75.0%	635,000	—	—	—	3	25.0%
リユースショップの店頭で売却	24	13.4%	19	79.2%	247,911	1	4.2%	30,000	4	16.7%
リユースショップの出張買取サービス	5	2.8%	4	80.0%	700,000	1	20.0%	35,000	—	—
宅配で郵送する買取サービス	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
インターネットオークションで売却	6	3.4%	5	83.3%	634,200	—	—	—	1	16.7%
自治体にごみとして廃棄	1	0.6%	—	—	—	1	100.0%	20,000	—	—
自治体にリユースの目的で引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
不用品回収業者に引渡し	2	1.1%	—	—	—	—	—	—	2	100.0%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	3	1.7%	1	33.3%	1,000,000	2	66.7%	5,500	—	—
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	1	0.6%	—	—	—	1	100.0%	20,000	—	—
引越し時に引越業者に引渡し	1	0.6%	—	—	—	—	—	—	1	100.0%
バザー・フリーマーケット等で売却	2	1.1%	1	50.0%	50,000	1	50.0%	5,000	—	—
友人・知人に譲渡・売却	13	7.3%	9	69.2%	606,667	—	—	—	4	30.8%
その他	18	10.1%	7	38.9%	204,429	4	22.2%	21,250	7	38.9%
合計	179	100.0%	93	52.0%	353,516	15	8.4%	18,067	71	39.7%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) 自動車の排出・流通実態の推計

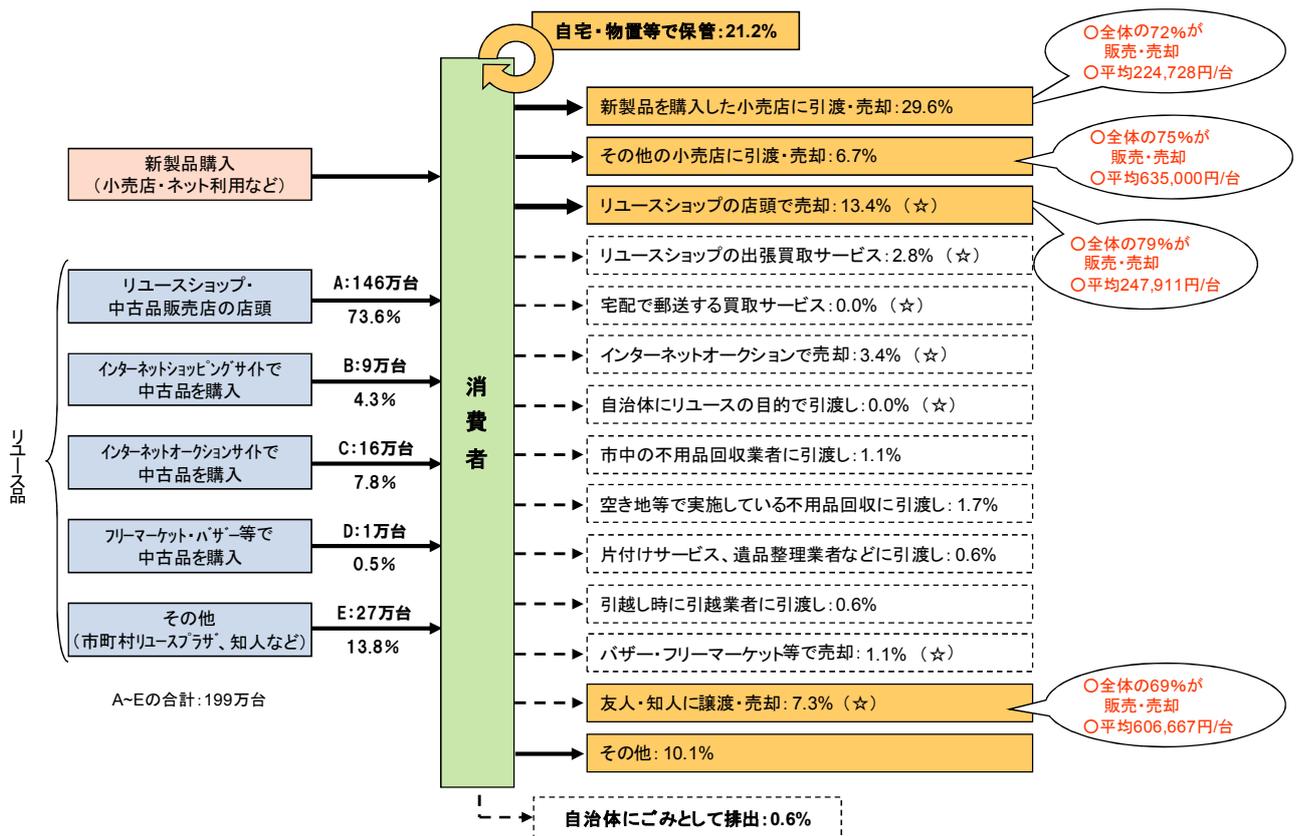
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手した自動車は199万台、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが73.6%、146万台、「その他」が13.8%、27万台、「インターネットオークションサイト」が7.8%、16万台と推計される。

また、過去1年間で不用となった自動車の排出・引渡について、「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」が最も多く29.6%、次いで「自宅・物置等で保管」が21.2%、「リユースショップの店頭で売却」が13.4%と続く。

排出・引渡の費用は、「新製品を購入した小売店に引渡し・売却」では販売・売却が72%、平均224,728円/台、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が79%、平均247,911円/台となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの（図表中の☆の排出先の合計）は、全体の27.9%、「自宅・物置等で保管」を除き割合を求めると全体の40.7%を占めると推計される。

図表 72 自動車の排出・流通実態の推計

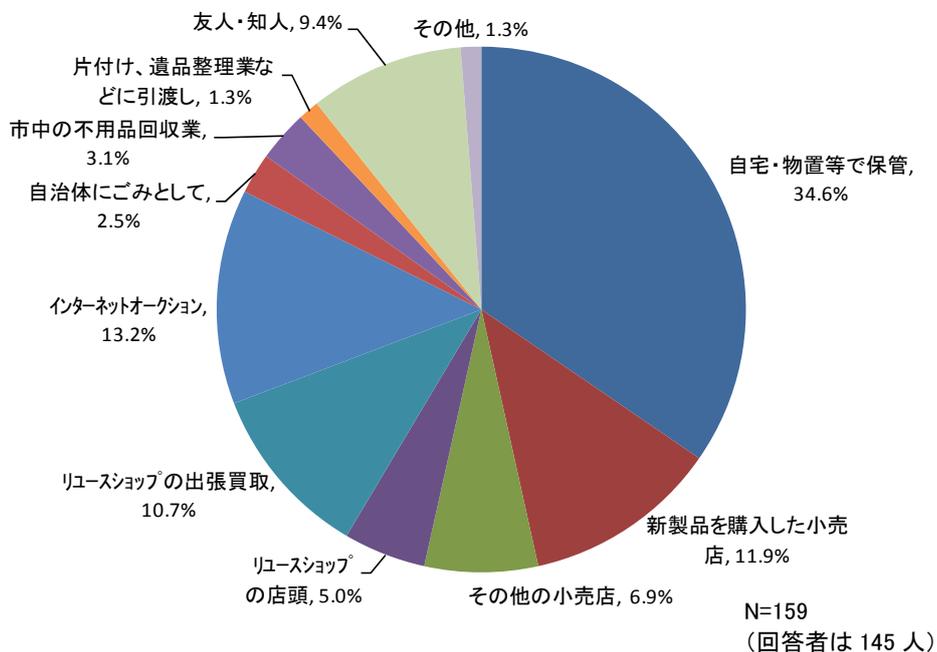


(19) バイク、原付バイク

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったバイク・原付バイクの排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったバイク・原付バイクの台数は159台（145人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く34.6%、次いで「インターネットオークションで売却」が13.2%、「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」が11.9%、「リユースショップの出張買取サービス」が10.7%と続く。

図表 73 不用となったバイク・原付バイクの排出先別の割合（台）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

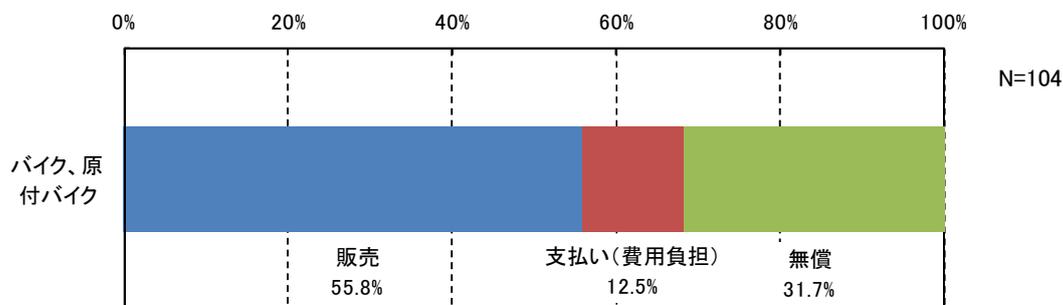
2) 不用品の排出における費用について

不用となったバイク・原付バイクの排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 55.8%、次いで「無償」が 31.7%、「支払い（費用負担）」は 12.5%となっている（図表 74）。また、「販売」の際の平均単価は 87,390 円/台、「支払い（費用負担）」は 9,512 円/台となっている（図表 75）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「インターネットオークションで売却」が続き、100%が「販売」（61,810 円/台）となっている。「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」では「販売」が 47.4%（140,294 円/台）、「無償」が 47.4%、「リユースショップの出張買取サービス」では「販売」が 64.7%（59,000 円/台）、「支払い（費用負担）」が 17.6%（16,667 円/台）、「無償」が 17.6%、「友人・知人に譲渡・売却」では「販売」が 46.7%（140,714 円/台）、「無償」が 46.7%となっている。

図表 74 排出・引渡時の費用について（バイク・原付バイク）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 75 排出・引渡先別の割合・費用について（バイク・原付バイク）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
			(1)販売			(2)支払い(費用負担)		(3)無償		
	個数	割合	個数	割合	単価(円/台)	個数	割合	単価(円/台)	個数	割合
自宅・物置等で保管	55	34.6%							55	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	19	11.9%	9	47.4%	140,294	1	5.3%	5,500	9	47.4%
その他の小売店に引渡し・売却	11	6.9%	7	63.6%	121,143	1	9.1%	5,000	3	27.3%
リユースショップの店頭で売却	8	5.0%	2	25.0%	8,000	4	50.0%	11,250	2	25.0%
リユースショップの出張買取サービス	17	10.7%	11	64.7%	59,000	3	17.6%	16,667	3	17.6%
宅配で郵送する買取サービス	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
インターネットオークションで売却	21	13.2%	21	100.0%	61,810	—	—	—	—	—
自治体にごみとして廃棄	4	2.5%	1	25.0%	10,000	—	—	—	3	75.0%
自治体にリユースの目的で引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
不用品回収業者に引渡し	5	3.1%	—	—	—	—	—	—	5	100.0%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	2	1.3%	—	—	—	2	100.0%	3,575	—	—
引越時に引越業者に引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
バザー・フリーマーケット等で売却	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
友人・知人に譲渡・売却	15	9.4%	7	46.7%	140,714	1	6.7%	1,000	7	46.7%
その他	2	1.3%	—	—	—	1	50.0%	10,000	1	50.0%
合計	159	100.0%	58	36.5%	87,390	13	8.2%	9,512	88	55.3%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) バイク・原付バイクの排出・流通実態の推計

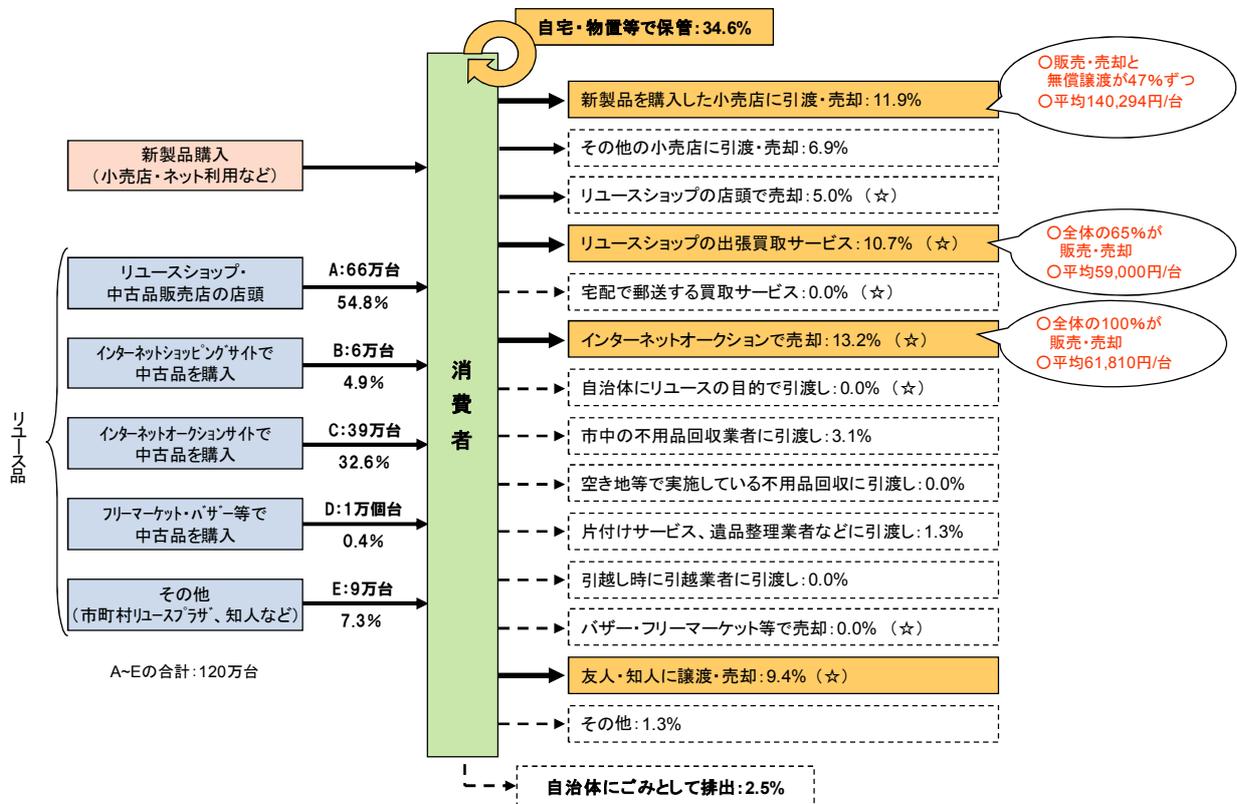
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したバイク・原付バイクは120万台、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが54.8%、66万台、「インターネットオークションサイト」が32.6%、39万台、「その他」が7.3%、9万台と推計される。

また、過去1年間で不用となったバイク・原付バイクの排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く34.6%、次いで「インターネットオークションで売却」が13.2%、「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」が11.9%、「リユースショップの出張買取サービス」が10.7%と続く。

排出・引渡の費用は、「インターネットオークションで売却」は100%が販売・売却であり、平均61,810円/台、「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」では販売・売却と無償がそれぞれ47%を占め、販売・売却では平均140,294円/台、「リユースショップの出張買取サービス」では販売・売却が65%、平均59,000円/台となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの（図表中の☆の排出先の合計）は、全体の38.4%、「自宅・物置等で保管」を除き割合を求めると全体の59.8%を占めると推計される。

図表 76 バイク・原付バイクの排出・流通実態の推計

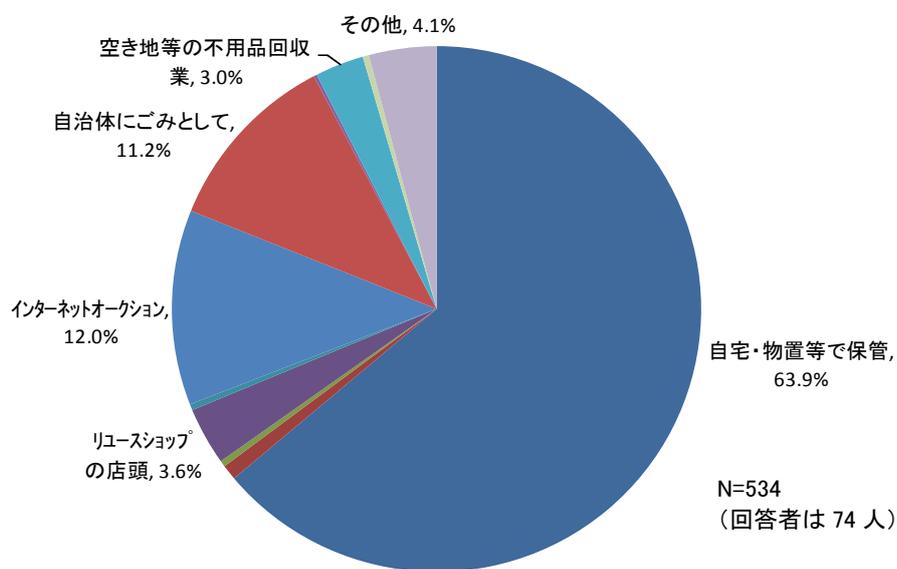


(20) その他

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったその他の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったその他の個数は534個（74人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く63.9%、次いで「インターネットオークションで売却」が12.0%、「自治体にごみとして廃棄」が11.2%と続く。

図表 77 不用となったその他の排出先別の割合（個）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

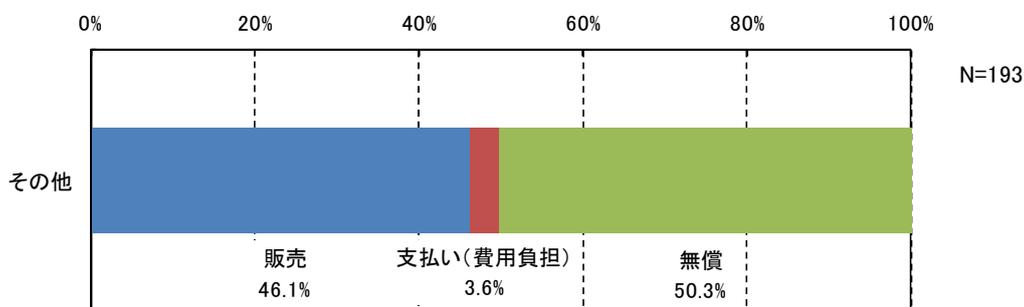
2) 不用品の排出における費用について

不用となったその他の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「無償」との回答が最も多 50.3%、次いで「販売」が 46.1%、「支払い（費用負担）」は 3.6%となっている（図表 78）。また、「販売」の際の平均単価は 3,451 円/個、「支払い（費用負担）」は 1,589 円/個となっている（図表 79）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「インターネットオークションで売却」が続き 100%が「販売」（3,594 円/個）となっている。「自治体にごみとして廃棄」では「無償」が 91.7%、「支払い（費用負担）」が 8.3%（524 円/個）、「リユースショップの店頭で売却」では「販売」が 100%（1,187 円/個）となっている。

図表 78 排出・引渡時の費用について（その他）



図表 79 排出・引渡先別の割合・費用について（その他）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
			(1)販売			(2)支払い(費用負担)			(3)無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	341	63.9%							341	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	5	0.9%	4	80.0%	2,637				1	20.0%
その他の小売店に引渡し・売却	2	0.4%							2	100.0%
リユースショップの店頭で売却	19	3.6%	19	100.0%	1,187					
リユースショップの出張買取サービス	2	0.4%	2	100.0%	22,000					
宅配で郵送する買取サービス	0	0.0%								
インターネットオークションで売却	64	12.0%	64	100.0%	3,594					
自治体にごみとして廃棄	60	11.2%				5	8.3%	524	55	91.7%
自治体にリユースの目的で引渡し	0	0.0%								
不用品回収業者に引渡し	1	0.2%							1	100.0%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	16	3.0%							16	100.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	0	0.0%								
引越し時に引越業者に引渡し	0	0.0%								
バザー・フリーマーケット等で売却	0	0.0%								
友人・知人に譲渡・売却	2	0.4%							2	100.0%
その他	22	4.1%				2	9.1%	4,250	20	90.9%
合計	534	100.0%	89	16.7%	3,451	7	1.3%	1,589	438	82.0%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) その他の排出・流通実態の推計

ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したその他は1250万個、そのうち「インターネットオークションサイト」で購入・入手したものが49.8%、622万個、「リユースショップ・中古品販売店の店頭」が44.4%、555万個、「インターネットショッピングサイト」が4.9%、62万個と推計される。

また、過去1年間で不用となったその他の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く63.9%、次いで「インターネットオークションで売却」が12.0%、「自治体にごみとして廃棄」が11.2%と続く。

排出・引渡の費用は、「インターネットオークションで売却」ではすべてが販売・売却であり、平均3,594円/個となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの（図表中の☆の排出先の合計）は、全体の16.3%、「自宅・物置等で保管」を除き割合を求めると全体の50.9%を占めると推計される。

図表 80 その他の排出・流通実態の推計

